

令和6年度
(2024年度)

事業報告書

社会福祉法人

広島修道院

目 次

1 概況-----	2
2 令和6年度目標の取組みと結果-----	3～25
3 児童の状況について -----	26～49
4 相談事業の状況について -----	50
5 心理療法事業の状況について -----	51～53
6 学習指導促進事業の状況について -----	54～55
7 退所児童自立相談事業の状況について -----	56～57
8 各種保育事業の状況について -----	58
9 職員の状況について -----	59～77
10 北村基金の状況について -----	78
11 施設設備等の整備状況について -----	78
12 寄付寄贈について -----	79

広島修道院基本理念

広島修道院は、
「生命」を尊び、
「愛」を育みます

広島修道院々訓

忍 勤 清
和 儉 慎

1 概況

令和6(2024)年度において、世界的に注目を集めたのは、11月の米国大統領選挙でした。新大統領の誕生により、世界情勢が今後どのように変化を見通すことは困難ですが、今後大きな影響が出ることが見込まれています。

一方、国内は一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、令和6年3月には日銀はマイナス金利を終了し、7月には日経平均株価は史上最高値を更新しました。さらに公示地価上昇率や春闘賃上げ率は、バブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野でインフレ傾向が見られました。デフレに向かう兆しもありますが、世界経済の動向にも左右されますので、引き続き注視する必要があります。

社会的養護の分野においては、平成29年8月の「新しい社会的養育ビジョン」に沿い、家庭・里親養育のより一層の推進のための施策が国や県・市で取りまとめられています。

広島修道院におきましては、「家庭的養護推進計画」や「社会福祉充実計画」に基づく一連の本体施設の小規模化は完了しました。令和6年3月に小規模・地域分散化の第一段階として、きずなの家分園の落成を行い、地域外での養育となりましたが近隣の方々のご協力もあり無事、1年目を終える事が出来ました。

里親委託の推進につきまして、令和3年度から広島市児童相談所からフォスタリング業務の一部を受託しており、里親研修、里親サロン、家庭訪問等の事業を実施し広島県は、西部里親支援センター業務の公募が実施され、令和4年度末に当院が委託事業者に選定され、令和5年4月から受託業務を開始しており引き続き、里親への総合的な支援継続を実施してまいります。

児童家庭支援センターにつきましては、公募を経て広島市の設置認可を受け、令和5年1月に広島駅北口に新事務所を開設しました。地域の子育て相談等を幅広く受付し、広く支援に取り組み一定の成果を挙げております。

社会福祉法人は、昭和26年3月に社会福祉法人制度が創設されて以来、各種の公的助成制度の助けもあり福祉分野の担い手として脈々とその機能を果たしてきました。

児童養護の分野においては、前述のとおり新しい社会的養育ビジョン後、新たに里親支援という事業ニーズへの対応が求められています。

広島修道院も改めて原点に立ち帰り、社会のニーズに応えるため幅広い業務分野への対応と専門性の向上を図り、地域における存在意義をなお一層高める努力を払ってまいります。

【注記】

本事業報告は、社会福祉法第四十五条の二十七第二項に定める「事業報告並びにこれらの附属明細書」として作成したものです。

2 令和6年度目標の取組みと結果

○ 法人本部

s	期待される水準を大幅に上回っている。
a	期待される水準を上回っている。
b	期待される水準を概ね達成している。
c	期待される水準をやや下回っている。
d	期待される水準を下回っており、大幅な改善が必要。

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・採用活動に際し、学校での就職活動セミナーへの参加により、直接学生へのアプローチの実施並びに質疑応答等も対応。それにより、当院の周知へも生かされたものと思料 また、キャリアセンター担当者との面談により、各大学の就活動向・他社就活動向等も聴取出来た事から試験開催日の日程設定(就活生の実習時期や試験日程を確認)も就活生に合わせる事が出来た。引き続き地元大学との連携維持を図りつつ各施設受入実習生へのフォローも本部として行い、安定した職員確保に繋げていく。

※評価は(s)(a)(b)(c)(d)の5段階

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、 要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① ガバナンスの確立	ア 適正かつ組織的な法人運営の確保	・評議員会、理事会、監事及び理事長という社会福祉法に定められたガバナンス体制が確立し、適切に機能するよう法令を遵守した法人運営を行う。	・法定どおりの評議員会、理事会の開催招集通知の発送時期、計算書類等の開示、備え置き、議事録の作成・保管に関する規定等の遵守 ・適正な法人運営 広島市指導監査及び監事、公認会計士による指摘事項の有無	・関係規定に則り、招集通知、計算書類等の開示を行った。 ・令和6年度広島市指導監査 文書指摘:3件、口頭指導:2件	(b)	・法定どおりの評議員会、理事会開催実施 ・規定の順守、招集通知、計算書類等の開示についても遅延無く対応した。 ・いずれも改善措置報告書を提出し、再発防止に努める。

② コンプライアンスの徹底	ア 法令や内部規程に則った法人・施設運営	・公益通報者保護等に関する規程等の研修・周知によるコンプライアンス意識の強化	・全職員を対象とした研修会の開催 公益通報、ハラスメント防止にかかる全職員を対象とした研修会の開催(年1回) ・公益通報、ハラスメント相談にかかる統計数値の理事会報告(年1回)	・令和6年10月～11月にかけて全職員を対象として計5回の研修会を開催し、156人の参加があった。 ・令和6年6月理事会で公益通報、ハラスメント相談に係る相談受付件数等の報告を行った。	(b)	・研修会は、育休中などやむ得ず参加出来ない職員を除き参加した。 ・公益通報:0件、ハラスメント相談実数:11人(内新規:3人、継続:8人)
③ アカウンタビリティの徹底	ア 事業運営の透明性確保	・ホームページ、WAM(福祉医療機構)ネットによる、業務運営や財務内容に関する適時適切な公表	・WAM(福祉医療機構)ネットによる適切な開示(令和6年6月)	・令和6年6月にホームページ、WAMネットにより業務運営、財務内容に関する情報公開を行った。	(b)	・財務内容に関する情報について、WAMネットにより情報公開を行った。
④ 公益的な取り組みの推進	ア 新ビジョン及び地域の子育て支援への対応と拡充	・社会福祉充実残額を活用した対応 ・必要に応じた社会福祉充実計画の変更対応	・きずなの家分園開設 ・適時適切な変更対応等	・社会福祉充実残額を活用し、令和6年4月に分園型グループケアを行うきずなの家分園を開設した。 ・令和5年度決算においては社会福祉充実額は算定されなかった。	(b)	・材料確保遅延による工期延長等があったが、令和6年4月に開設に漕ぎつけた。

⑤ 職員の育成	ア 職員の資質向上	・人材育成、組織活性化のための人事交流、人事異動の定着化を推進する。	・意向調査の実施(年2回) ・施設間異動の実施	・令和6年6月と11月に意向調査を実施した。 ・意向調査も踏まえ、人材育成等のために施設間異動(5名)を行った。	(b)	・全職員の意向調査を確認し、人材育成等も鑑み施設間異動等対応実施した。
	イ 生涯研修規程の適切な運用	・OJT、OFF-JT、SDS(自己啓発援助制度)による職員の能力開発と育成に努める。	・OJTリーダーの任命(各施設最低1名) ・SDSの利用件数、支援金額(増減)	・各施設ともOJTリーダーを任命し、職員育成に努めた。 (児童ホーム:6名、乳幼児ホーム:4名、きずなの家:3名) ・令和5年度 SDS 利用件数、金額 20 件、344,470 円 令和6年度 SDS 利用件数、金額 36 件、358,575 円 対比 +16 件、 +14,105 円	(b)	・職員育成の為に新入社員への OJT リーダー配置 ・職員へ SDS の認知・活用について促した結果、件数・金額ともに増加。引き続き利用を推進する。

⑥ 経営の確保	ア 新ビジョンにおける多機能・高度化対応	・広島修道院家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画に沿った対応	・きずなの家分園開設 ・総合的な里親支援要請への対応及びフォスタリング業務の受託内容の拡充(フォスタリングチェンジプログラム等)	・家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画の計画どおり、令和6年4月に開設した。 ・広島市から委託されているフォスタリング業務に加え、5年度から広島県西部里親支援センター業務を受託し、総合的な里親支援要請への対応を行っている。	(a)	・家庭的養護推進計画、社会福祉充実計画のどおり開設出来た。
	イ よりよい人材の確保	・実習生の受入と広報体制の強化	・実習生(保育士・社会福祉士)受入数、採用試験受験者数 ・外部専門業者のWeb媒体への当院採用情報登録 ・ホームページの更新(最低2回) ・広報啓発活動の実施	・54名の実習生を受け入れ、うち5名が当院の採用試験を受験した。(うち3名採用した。) ・ビズリーチを始め、外部専門業者と情報交換実施中。新卒採用・中途採用に分けて業者と折衝中 ・きずなの家分園開設に伴いHP情報追加の為に更新 ・保育園の延長時間変更に伴う更新 ・施設長コメント変更、各施設パンフレット追加の為に更新 ・採用試験開催に伴い採用試験案内で、計8回更新 総計更新回数:11回更新 ・広島国際大学、広島文教大学にて就職活動セミナーに参加し、学生を相手に当院の業務内容他説明 ・市内大学(比治山大学、女学院大学、広島都市学園大学、安田女子大学、広島国際大学、広島文教大学)のキャリアセンターへ担当者を尋ねて直接当院の採用試験案内並びに学生への周知依頼実施	(b)	・学校とも連携し実習生受入から採用試験へと繋げる事は出来た。 ・採用にあたり、外部業者の知見を利用しながら、SNSの活用並びに担当職員への直接のアプローチを実施。特に、就職活動セミナーには、1年生からの参加もあり、単年度活動に留まらず来年度以降も踏まえた活動が出来た。

○ 広島修道院

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・職員のメンタルヘルスや離職防止の為に二つの事に取り組んだ。①「子どもと大人と一緒に楽しい経験を共有する。」具体的には、夏休みには宿泊を伴う行事、ハロウィン行事や登山・サイクリングなどを行い、一番大きな行事として全児童・職員で大阪旅行へ行った。幼児から高校生まで全員で同じ行事に取り組み、思い切り楽しむ時間を共有出来た。②「丁寧な養育の振り返りと共通言語を持つ」子どもの対応場面で困ったことや上手くいかなかった事を、若手職員と先輩職員が個別に振り返り、同じ教材を使用し考えるという時間を取った。結果、共通言語(「期待値」、「タイムアウト」等)が現場で聞かれるようになり、養育の標準化に繋がった。このような取り組みにより、子どもと職員の帰属意識が高まり、施設内の一体感の成就に繋がり、結果職員退職者ゼロになったものと考えている。

事業計画				結果	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保障	ア 子どもと大人が同じ目標に向けて進む。	- 目標達成のための計画を子どもと大人で協働していく。 - 小学生からの学習の基礎作り	- 自立支援計画の活用 - 応援面接(一人2回)お祝い会(毎月実施) - 公文学習やコグトレの実施	「養育の永続性・連続性」を反映した支援構築の為、自立支援計画を見直した。関係者会議にて、資料として提出した。 - お祝い会は概ね実施出来た。 - コグトレ 16名に実施。火～金 一人1回30分。毎週木曜日、グループワークを開催した。	(b)	問題行動のある児童にばかり注目が行きがちであったが、ホームごとのお祝い会をすることで、それぞれの児童が肯定的に頑張っている事へ意識が向くようになっていく。
	イ 安全委員会の継続	- 暴力対応事案を分析し、再発防止に努める。 - 丁寧な聞き取りを実施する。	- 心理士の活用 - 丁寧な聞き取り、安心感のスクーリングの毎月実施 - 暴力問題について心理士に意見を求める。	聞き取り・応援面接に、心理士が助言、同席をした。会議にて、安全委員会報告を入れ、丁寧な聞き取りの効果を職員と子どもが実感しやすい形を模索した。子どもの声を聞き取りやすくする取り組みとして、子ど	(b)	- 聴き取りにより、性加害事案を見つけることが出来た。 - 加害、被害児へのケアについて心理士が積極

	ウ 権利擁護の強化	・アドボケイトに対する意識の醸成と子どもの意見表明の機会を保障する。	・アドボケイトに関する研修の実施（1回） ・子どもの権利の勉強会の実施（2回）	も達のリクエストを聞き、聞き取り者を選定する企画を実施した。 ・養育現場へのアドボケイトの導入を行った。14回実施（R6.1月末）導入に当たり、全体会議で周知。権利擁護の勉強会に職員が参加（7月・11月）した。	(a)	的にコミットすることが出来た。 ・希望する児童が少ない日があり、木曜日から金曜日に変更。また前日に児童に面談の声掛けをすることで、希望者が増加した。
② 人材育成 による支援 の質の向上	ア 子どもと一緒に過ごすことが、楽しいと思える職場づくり	・外遊びの時に、一緒に体を動かして関わる。水泳、マラソン、山歩きを奨励。室内遊びの充実、玩具などの環境整備を行う。	・子どもとの楽しい時間作りを勤務に反映する。	・夏休み中、宿泊行事を2度実施、小学生男子のソフトボール大会に向けた練習に励み優勝した等、児童と大人の協働の機会を増やす。秋にはサイクリング、登山活動、大きな行事として、全体旅行を実施。事前告知し、節約や協力の雰囲気が見られた。職員同士の一体感や子どもとの関係構築が大いに進んだ。また招待ではなく自主行事としてミュージカル鑑賞を行う。年末にはボランティアの協力を受け、大掃除、グラウンド整備を子どもらと行った。更に小学校高学年を中心に防火夜回りをし、施設生活の主人公は「子ども」という場面を作る事を意識した。毎日の引継ぎで、各ホームより子ども達の良い所へ注目した報告をするようになった。	(a)	・行事を重ねる中で、児童と職員の間関係性が強化され、お互いの所属感が高まった。 ・旅行は、企画立案から、実施計画、業者との交渉まで、中堅職員で実施。今までにない経験を積み、当事者感が醸成され、職員の資質向上にも繋がった。令和6年度末、退職希望者がゼロで、来年度も就業希望者が多数いた事は、一つの成果として認識している。

	イ 日常的場面での人材育成を行う。 ウ ケース会議のあり方改善	・子どもの一日の流れに沿った支援のため、記録の読み込み、日課の確認を行う。 ・それぞれの職員の専門性を発揮し、子どもの養育について話し合う。	・CSP のテキストを読む。 ・循環型人材育成研修（年4回） ・ケース検討（毎月実施） ・心理士の活用 コンサルテーションを活用する。	・概ね、出来た。研修の成果を顕在化するまでの組織的・計画的な耐性作りとして引継ぎ後の5分の読書タイムや、CSP テキストを利用した個別の養育の振り返りを定期的に実施した。 ・養育観の擦り合わせ、チーム養育の強化を図る為に、会議目的の再設定をした。実際の子どもの生活に支援の方向性が反映するかどうかを見直した。養育チームの意思決定と共有、具体的な支援策の立案が進んだ。現場職員から心理士と連携しやすくなったと声が上がった。児童相談所の心理士と施設の心理士の連携を強化した。	(b) (b)	・CSP が浸透する中で、不適切な声掛けや、余計な軋轢が減り、児童と職員にとって生活がしやすくなった。一方、職場内で、「CSPは情緒を感じない」等の意見もあり、価値観の擦り合わせが必要 ・月に一度という、会議の頻度が少なかったのが課題 ・心理士が2名持てた事で、1階と2階に分担して機能的に動くことが出来た。
③ 家族・里親・関係者・地域等への支援の充実	ア ショートステイの受け入れ体制の充実	・ショートステイ、一保護児童のアセスメント強化。要支援家庭のケースと通常のケースの仕分けを行い、適切な対応や事後の情報共有を図る。 ・入所児童の支援と短期入所児童との支援に課する考え方を明確に分けていく。	・ケースに応じて心理士のアセスメントを活用する。 ・要支援ケースについては会議を持ち関係者で情報共有する。	・要支援、通常預かりケースの仕分けをする為、心理士が観察・記録・報告からアセスメントを行い、区へ情報提供を行った。要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加。ショートステイ集計（4月～12月）を実施。利用児童 72名 1か月平均8名。利用年齢は1位年長、2位小3。理由は母の育児疲れが47件（65.3%）。安佐南区、中	(b)	・担当心理士が地域の会議に積極的に参加するなど、人的な社会資源として機能した。 ・ショートステイの利用希望について、時期が集中し、断る場合があった。また、多子世帯や非行ケースの依頼など、ハード面の問題で断る場合もあった。広島市

	イ 分園後の空きスペースの活用	・分園後の児童棟の空きスペースの活用案を考える。		区、西区の順で多い。保護者負担金なしが65% ・病休者や途中退職を減少させる取り組みとして、休憩しやすい環境を整えた。児童棟の女子休憩室を広くした。 ・元男子休憩室を倉庫とし、学習室の用品を移動。幼児ホームにトイレのある居室を割り当てた。3歳児の受け入れが可能になり、日中保育を実施、成長発達を促した。また、幼児ホームを2部屋連結して使用したことで、遊ぶ空間と生活の空間を分けられたので、生活環境に余裕が出来た。他児との関りで頻回にトラブルを起こす児童の居室を二部屋連結して使用することで、空間に余裕が生まれ、トラブルの回避や内省に役立った。	(a)	と、利用理由について、「虐待予防」の観点か「就労支援」の観点かのプライオリティについて協議を実施 ・昭和62年に比して職員数が大幅に増加しているにもかかわらず、休憩スペースが変わっていなかった事に手を付ける事が出来たのは大きな成果 ・幼児ホームの機能強化を図り、新規入所にも積極的に取り組んだ。
--	-----------------	--------------------------	--	--	-----	--

○ 広島修道院きずなの家（本園）

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・個の特性から他児への過干渉・威圧的な関わりにつながり、生活の安心安全が守られない状況が生まれ、そこへの取り組みに配慮を要した。部屋会議開催の頻度は上がり、年齢別に話し合う等の工夫も見られ、話し合うこと・それぞれの良いところを分かち合うことが、子どもにも職員にも浸透してきた。ただ、高齢児が自発的・自主的に行動するという点に弱さがあることが共有され、支援の再考に至っている。分園開設に対して、地域でのあいさつや地域行事への参加で、地域との関係性構築を側面支援することが出来た。また、予算に伴う作業を各予算担当者が協力し合って行う事も出来た。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの 最善の利益 の保証	ア 暴力のない安心で 安全な生活	・毎月の安心度スケールの実施 ・「境界線」の意識を育むために、「境界線」資料を用いて毎月の聴き取りを行う。	・安心度スケール年間平均値(中高生 6.0 以上・幼小生 7.0 以上)	・安心度スケール年間平均値(中高生 6.0・幼小生 8.7) ・理由はあっても暴力は認められないという事が浸透してきた。 ・年長児(高2生)が部屋の雰囲気は安心できるものであるよう年下に話をする事があった。	(b)	・個々の特性から過干渉・威圧的な関わりにつながり、安心安全を脅かすことがあった。その関係調整が継続課題
	イ あたたかい家庭的養 育環境と育ちあう集団 づくり	・子どもができていることに肯定的注目をし、具体的にほめる。 ・月 1 回部屋会議(議題:やりたいこと・困っていること・わかちあい)を実施	・行動に対して、「正す:ほめる」の割合を 1:8 にする。(CSP において、否定的体験をしている子どもに対しては、ほめる視点を通常の倍程度が望ましい。)	・部屋会 3 部屋で全 22 回(みのり 8 回、のぞみ 10 回、あゆみ 5 回)	(b)	・課題点への注目が高くなる傾向もあるため“分かち合い”に重点を置く事、こどもが自分を見てもらえているという安心感を抱けるような取り組みが必要

			・月 1 回部屋会議実施。「わかちあい」で、全児の良いことを共有する。	・部屋会議の実施頻度は上がり、話し合うこと、分かち合うことが子ども達の意識にも浸透してきた。 ・できていることに肯定的な注目をし、具体的に褒めることは浸透しているが、『正す：ほめる』の割合は、全体の体感として 1:3 程度である。		・やってもらって当たり前という意識に繋がっていることがみられ、特に高齢児が自発的・自主的に行動する点に弱さがある。子どもが自分自身の弱さや課題に向かう力を付けていく支援の展開が課題
② 人材育成と専門性の向上	ア 職員の関係性の質の向上と集団づくり	・職員の良い関係性構築を意識し、月 3 回の会議を設定し、PDCA サイクルを作る。 ・「人財育成研修」の階層研修で、施設課題について意見交流する。	・主任リーダー会議(毎月 1 回) - 職員(部屋・全体)会議(毎月 2 回)、ケース会議(4・8・3 月除く毎月 1 回 年全 9 回)実施 ・「WISH 研修」各階層年 3 回集合研修実施	・8 月を除き、職員(部屋・全体)会議を月 2 回実施。係会議 5 回、運営会議を職員会議後に設定し実施した。ケース会議 6 回 ・職員の関係性に重点を置いた基本方針がある事の安心感があった。良好な職員関係が出来ている上での報連相を細目に行った。 ・係活動を充実させることで、部屋をまたいだ活動が出来、横のつながりが出来た。 ・人財育成研修 3 階層(リーダー(H)階層 5 回・中堅(S)階層 4 回・2 年目以上 4 年目階層(I)4 回)13 回実施。他の階層の意見をくみ取る事に時間を要し、時間がかかっているが、施設の課題を各階層で前向きに意見を出し合うことが出来た。	(b)	・施設課題に焦点化した係会議の再編成が課題 ・H 階層から I 階層への基礎研修実施が課題

				・講師が S 階層と H 階層の橋渡しをしながら、OJT チェックリストを完成させた。 ・法人内児童養護共通の手引きづくり(S 階層)・循環研修の効果測定法づくり(H 階層)に着手した。		
③ 関係者とのつながりと連携	ア 共同子育ての家庭支援	・お便り『絆』を通して、子どもの成長・課題を保護者と共有する。	・子どもの近況記載とケースに応じた写真を加えて、毎月初め(年 12 回)発送する。	・毎月 1 回発送、写真送付 6 ケース。年少児はその月の写真を印刷して送ることで、保護者との距離感を縮める事が出来た。 ・保護者同意を得て、養育里親委託 1 名、ホリデー里親委託 2 名新規縁組で、家庭交流の無いまたは少ない子どもに家庭生活体験の機会を増やした。	(b)	・ライフストーリーワークの視点から、保護者とのかかわりを考えていくことが課題
	イ 関係機関、地域とのつながりと連携	・「坂の下から修道院」を合言葉に、出会った方に必ず挨拶をする。 ・地域行事に積極的に参加する。	・地域の方から施設に対して肯定的な言葉が発せられる。	・「坂の下から修道院」の意識が浸透している。 ・子ども会行事、町内清掃、夜回り等、積極的に参加できた。	(b)	・「地域の中の分園」をバックアップしていく視点から、より意識的に地域との関りを考え実践していくことが課題

④ 分園の着 実な運営	ア 子どもとの 関係性 構築	・「育み」(寄り添う・日常 のケア・共感・愛情を 示す・励ます)を実践 する。	・安心度スケール年間平均 値(中高生 6.0 以上・幼小 生 7.0 以上)	・予算にともなう作業を本園・分園で協力し 合って行うことができた。	(b)	・本園と分園の協力・ 連携の在り方を検討 していくことが課題
	イ 地域との つながりと 連携	・「坂の下から修道院」 を合言葉に、出会った 方に必ず挨拶をする。	・地域の方から施設に対 して肯定的な言葉が発せ られる。	・「坂の下から修道院」の意識が浸透してい る。(隣家からは「いつも挨拶をしてくれる 良い子たち」の声をいただいた。) ・子ども会行事、町内清掃、夜回り等、積極 的に参加できた。	(b)	・「地域の中の分園」を バックアップしてい く視点から、より意 識的に地域との関り を考え実践していく ことが課題

○ 広島修道院きずなの家（分園）

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・広い居室空間と子ども全員に個室が確保されるというハード面の強さにも支えられ、皆が助け合いながら大きなトラブルもなく、一定落ち着いた生活を送ることができた 1 年だった。移行してきた子どもたちは年齢幅の広い縦割りでの生活に馴染みが無かったため、縦割り年齢での子ども間の関係性調整に配慮を要したが、毎月聴き取る子どもの安心度スケールは年間平均「中高生 8.0、幼児小学生 8.6」と高水準であった。職員からも「子どものニーズに応えやすくなった」「外出機会が増えた」など、高評価が得られた。近隣より苦情が 3 件あったが、隣家からは「いつも挨拶をしてくれる良い子たち」とのお声も頂き、概ね分園の存在を受け入れて頂けたのではと思われる。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保証	ア 暴力のない安心で安全な生活	・毎月の安心度スケールの実施 ・「境界線」の意識を育むために、「境界線」資料を用いて毎月の聴き取りを行う。	・安心度スケール年間平均値(中高生 6.0 以上・小学生 7.0 以上)	・安心度スケール 4～7.3 月平均値(中高 8.0、幼少 8.6) ・居住空間の広さや全児に個室が確保されたことで居室内での物理的距離感が確保され、安心感・安全感が向上した。	(b)	・縦割り構成での年長児(中・高生)と年少児(幼児・小学生)間や、新入所児との関係調整が課題
	イ あたたかい家庭的養育環境と育ちあう集団づくり	・子どもができていことに肯定的注目をし、具体的にほめる。 ・月 1 回部屋会議(議題:やりたいこと・困っていること・わかちあい)を実施	・行動に対して、「正す:ほめる」の割合を 1:8 にする。(CSP において、否定的体験をしている子どもに対しては、ほめる視点を通常の倍程度が望ましい。) ・月 1 回部屋会議実施。「わかちあい」で、全児の	・各世帯で、毎月 1 回お祝い会または世帯会を実施して、個々の良いところを具体的にほめて世帯で分かち合うことができた。「正す:ほめる」の割合は、全体の体感として 1:4 ・お祝い会ではメッセージカードを作ったり、個々の目標をリビングに貼るなど世帯	(b)	・子どもの過度な要求に対しては『できること』と『できないこと』を子どもに分かりやすく伝えたり、話し合っていくことが課題

			良いことを共有する。	ごとで工夫がみられる。 - 子どもと職員が1対1で関わる機会が増え、個別の要望に応えやすくなった。それらを通して気持ちを言語化する力の向上が見られた。 - 子どもの要望から外出機会が増え、関りや経験を増やすことができた。		
② 人材育成と専門性の向上	ア 職員の関係性の質の向上と集団づくり	- 職員の良好な関係性構築を意識し、月3回の会議を設定し、PDCA サイクルを作る。 「人財育成研修」の階層研修で、施設課題について意見交流する。	- 主任リーダー会議(毎月1回) - 職員(部屋・全体)会議(毎月2回)、ケース会議(4・8・3月除く毎月1回 年全9回)実施 「WISH 研修」各階層年3回集合研修実施	- 職員(世帯・全体)会議は8月を除く毎月2回実施。運営(主任)会議を、会議日午後に設定。ケース会議7回(5・6・9・10・11・1月・2月)実施 「世帯の困りごとを全体で共有しやすい」という意見が出た。 - 人財育成研修3階層(リーダー(H)階層5回・中堅(S)階層4回・2年目～4年目(I)階層4回)全13回実施 - 講師がS階層とH階層の橋渡しをしながら、OJTチェックリストを完成させた。 - 法人内児童養護共通の手引きづくり(S階層)・循環研修の効果測定法づくり(H階層)に着手した。	(b)	- 他世帯の様子が見えにくく、困り感に気づきにくいことが課題 - 世帯を超えた職員での会話が增える環境づくりが課題 - H階層からI階層への基礎研修実施が課題

③ 関係者とのつながりと連携	ア 共同子育ての家庭支援	・お便り『絆』を通して、子どもの成長・課題を保護者と共有する。	・子どもの近況記載とケースに応じた写真を加えて、毎月初め(年 12 回)発送する。	・日ごろから子どもの写真を撮り、世帯ごとで丁寧なお便りを作成して毎月発送し、かかわりのスタートとなった保護者との関係構築に非常に有益だった。	(b)	・対応に特に配慮を要する保護者への関わり方の検討とソーシャルワーク力アップが課題
	イ 関係機関、地域とのつながりと連携	・「坂の下から修道院」を合言葉に、出会った方に必ず挨拶をする。 ・地域行事に積極的に参加する。	・地域の方から施設に対して肯定的な言葉が発せられる。	・隣家からは「いつも挨拶をしてくれる良い子たち」の声をいただいた。 ・近隣の方からの苦情 3 件(①夏休み中のプール遊びの声②特定の子どもへの心配の声③植栽の葉が近隣に落ちる)あり。 ・子ども会行事、町内清掃、夜回り等、積極的に参加できた。	(b)	・日常生活上の音が近隣にご迷惑にならないよう、意識し考えることが課題
④ 分園の着実な運営	ア 子どもとの関係性構築	・「育み」(寄り添う・日常のケア・共感・愛情を示す・励ます)を実践する。	・安心度スケール年間平均値(中高生 6.0 以上・小学生 7.0 以上)	・安心度スケール 4~1 月平均値(中高 8.0、幼少 8.6) ・新しい場所で、職員も子どもも手探りではあったが、助け合いながら大きなトラブルなく一定落ち着いた生活を作ることができた。 ・子どもの良いところに目を向ける意識が定着している。	(a)	・子どもの要望に応じられない時にも、丁寧に説明してしっかり話し合い、一緒に考え、次に繋がる提案・声かけをしていくことが課題
	イ 地域とのつながりと連携	・「坂の下から修道院」を合言葉に、出会った方に必ず挨拶をする。	・地域の方から施設に対して肯定的な言葉が発せられる。	・隣家からは「いつも挨拶をしてくれる良い子たち」の声をいただいた。 ・近隣の方からの苦情 3 件(①夏休み中のプール遊びの声②特定の子どもへの心配③植栽の葉が近隣に落ちる)あり。	(b)	・日常生活上の音が近隣にご迷惑にならないよう、意識し考えることが課題

				・子ども会行事、町内清掃、夜回り等、積極的に参加できた。		
--	--	--	--	--	--	--

○広島乳児院

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・今年度は、3つの柱を掲げて取り組んだ。(①応答性と愛着の育み②人材育成③地域貢献)小規模な養育環境では、日々関わる大人とのつながりの中で子どもの安心感や言語発達が促進されるなど、一定の成果が見られた。一方で、ショートステイや一時保護児の受け入れを進めた結果、「入所のニーズ」を優先する判断が多くなり、継続的な関わりや深い繋がり形成が難しい場面も増えた。更に以下の様な課題も明らかとなった。①発達に偏りのある子や医療的ケアが必要な子どもの増加②入退所の繰り返しによって子どもが不安定となり、発達段階の把握が困難になるケースの増加③職員間の情報共有や記録の活用が不十分で、不適切な対応が発生。こうした課題を受けて、来年度は組織の意思決定・情報の伝達と共有の仕組みを再構築する。「対話」を中心に据えたチームづくりを行い、地域貢献を目指していく。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 応答・愛着の育み	応答関係の構築 愛着関係の育み(助けを求められる子どもに)	・情緒面の発達支援(乳児保育の充実) ・大人との応答的関係を築くような関わりをもち、日々の生活を安心・安全な生活を送る。	・発達段階に応じた遊びや読み聞かせ、わらべ歌や感覚統合を目的にした設定保育の実施(週に1回)	・設定保育については、週1回は取り組めなかったが、わらべ歌など日常的に意識し行った。 ・小グループ養育の中で愛着関係は育みやすくなったが、子どもの発達段階に応じた応答関係の構築などについては不十分だった。	(b)	・基本的な発達段階の理解について研修を計画しクラスで共有し、応答関係の構築、情緒面の発達に努める。 ・自立支援計画に沿って個々の発達を支援する。
② 人材育成	ア 子どもの権利擁護の強化	・子どもの権利擁護について職員の意識を高めるため、職場内外での研修及び職員アンケートを実施する。 ・オレンジの会の取り組みをさらに充実させ、被措置児虐待防止に努める。 ・事故防止のためのヒヤリ	・職員アンケートをとり、委員による聞き取りを3か月に1回実施する。 ・主任会議で各部屋から不適切な養育を報告し、該当職員に聞き取りを実施する。	・オレンジの会の聞き取りは広島市の聞き取りもあり、今年度1回しか行えなかった。聞き取りの中でネガティブな声かけなどの話が出た場合は該当職員に事情を聴き助言を行った。また、クラス会議でネガティブな声かけや不適切な対応の防止策を話し合った。	(b)	・オレンジの会の要綱の見直しと聞き取りを年2回行い、アンケートも活用する。 ・ネガティブな声かけ不適切な対応についてはお互いに声をかけやすい雰囲気を作る。

	イ 実習生の 受入れ及 び職員確 保	ハット、自己の振り返りのためのチェックリストを活用する。 ・保育士の専門性を生かした実習内容にする。	・チェックリストの活用(毎月) ・実習終了後の学生との振り返りの会の実施	・原因不明のケガが発生した事から、広島市からの聴取並びに改善策提出指示があり、施設内で協議し改善策を策定 ・実習生のオリエンテーションや実習クラスでの日々の振り返りは丁寧に取り組んだ。 ・実習生の採用試験受験に繋がった。 (11人/2人 内1名当院パート勤務)	(b)	・子どもの行動の先を考え事故防止に努める。 ・チェックリストを見直し全クラス共通とする。 ・実習生のオリエンテーション、指導を丁寧に行い採用試験受験に繋げる。
--	-----------------------------	--	--	---	-----	--

③ 地域貢献	ア 育児相談	・育児相談の充実(児童家庭支援センターわかくさと連携) ・退所後のサポートの実施(児童家庭支援センターわかくさと連携)	・必要に応じて適時適切に実施	・わかくさは児相との連携もあり、退所児、ショートステイの受け入れ、サポートについて適時情報共有、連携がとれた。	(b)	・わかくさの取り組みについて職員会議等で報告してもらい理解を深める。
	イ 一時保護・ショートステイ児の受入れ体制整備	・一時保護・ショートステイ児の受入れを進める。 ・各区こども家庭相談コーナーとの連携強化 ・心理療法担当職員によるアセスメントの実施(一時保護強化児)	・受入件数の増減 ・入所時に原則実施	・一時保護は乳児(特に0歳児)幼児とも多く、児相に入所の日程調整依頼や謝絶のケースもあった。 ・一時保護強化児の入所も多く兄弟ケースがあり5,6歳児の対応で苦慮があった。児相の依頼に応じて心理療法担当職員によるアセスメントは随時提出できた。 ・ショートステイの受け入れ体制を整える事が難しく、日程調整を依頼し、出来るだけ受入れを行ったが、已む無く断る事があった。	(b)	・新生児、0歳児の一保依頼が多く、乳幼児ホーム全体で受入体制の整備が必要 ・今まで子ども同士の関りの配慮や感染症予防の為にショートステイ児と一保児を分けていたが、受入増加のために同室で見られるような体制整備の確立が必要
	ウ 里親支援とフォスタリング事業	・フォスタリング業務の着実な実施 ・家庭訪問及び里親委託後のフォローアップ研修の実施(令和3年以前の委託児も含む) ・児童相談所の里親支援員と協力し、マッチングの調整、実施 ・レスパイトにも常時対応	・家庭訪問実施件数の増減 ・フォローアップ研修実施回数の増減 ・マッチング件数の増減 ・レスパイト受入件数の増減	家庭訪問 200件/年 22回同伴 基礎研修、登録前研修Ⅰ・Ⅱ各3回/年 全体研修会、スキルアップ研修、更新研修、未委託里親研修 合計17回 FCP 12セッション開催 里親サロン 6回/年 交流会 2回/年 里親実習受け入れ 15名 マッチング 31回 レスパイト受入 23件	(b)	・里親支援、フォスタリングの業務は着実にを行ったが、研修会の実施、家庭訪問など業務多忙なことから、今後、人員配置の見直しが急務

○ 広島修道院保育園

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項
・保護者支援をクラスだよりの一部ではなく、A4 サイズで月に1回、各クラス掲示板上に貼り出した。 ・イラストや写真を使用し、貼り出しにしたことによって、お迎えの時間などに、子どもが「これ見て」と指さしたりする光景も見られ、保護者へ具体的に伝達事項を伝えられた。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかった こと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 心身ともに健やかな子ども	ア 生きる力の基礎を培い、豊かな心を育成していく。	・園生活の中で子ども自身が自ら考え、主体的に行動できるよう日課を工夫し、子どもが自分でやりたいことを選べる環境づくりをしていく。	・ノンコンタクトタイムをつくり環境づくりや日課の見直しをしていく。(2週に1回)	・ノンコンタクトタイムは、月に1、2回もうけることはできたが、書類作成などが主になり、環境づくりにはなかなか手が回らなかった。	(b)	・日課の見直しや環境づくりは、学習しながら、日時を設定して、取り組まないとなかなか難しい。
	イ その子らしさが発揮される環境づくりを通して子ども主体の保育を創る。	・ひろしま自然保育認証園として、友だちと様々な自然体験をする中でコミュニケーション能力を育む。	・春・秋は各クラス週1回以上散歩に出る計画を立て、自然体験活動が週平均10時間以上となるようにする。	・気候の良い季節は、勤務表作成前に各クラスが散歩・遠足の希望日を記入し、週1回程度、計画を立てて実行できた。 ・畑には各クラスで野菜を植え、水やりや草抜きなどにクラス全体で行ったり、当番で行ったりなどして自然体験活動を行った。	(b)	・自然保育アドバイザーの講師を招いて学習会を開催できなかったことが残念だった。
② 人材育成	ア 職員の専門性の向上	・子どものつぶやきを受けとめ、子どもの内面の思いに寄り添っていく。	・園内勉強会で子どもが何を求めているか考え合う。(年6回以上、全体又はフロアごと)	・3歳以上児は一人担任のクラスもあり、クラス会議で子どもの様子を共有するのは、難しい面があった。各分野の勉強会は、開催頻度に差はあったが、メンバーを固定していたので、発展的な話し合いができた。	(b)	・園内勉強会が有意義なものになるよう深めるとともに外部講師などの活用をしていきたい。
	イ 育ちあう職	・職員の保育に対する	・クラス内で保育や子ども	・朝のつどいやおやつの時間に子どもの出	(b)	・クラス内でより子ども

	員連携づくり	疑問や悩みが出せるよう、日々のコミュニケーションを重視していく。	の様子などを伝え合う時間を作っていく。(1日5分)	欠や様子、その日の予定などをクラス内(園児も含めて)で共有するよう、意識していった。		の話ができるようケースカンファレンスを充実させていきたい。
③ 地域への貢献	ア 地域への子育て支援	・地域の子育て家庭にむけて、子育て情報を発信していく。	・ホームページの更新を行っていく。(年4回)	・きんさいみんなの保育園事業予定表の更新や延長保育時間の変更など最低限のことしかできなかった。	(c)	・年間を通して専任で考え、撮影ができるフリー職員の確保を行いたい。
	イ 保護者支援	・保護者の自己決定を尊重しながら子どもの成長を喜び合える関係づくりをしていく。	・保護者支援を月に1回、各クラス掲示板に張り出す。	・クラスだよりの一部ではなく、A4サイズで貼りだしにしたことによって、イラストや写真を使用して、具体的に伝えることができた。 ・教室入口に張り出すことで、お迎えの時間に見てもらえたり、子どもがこれ見てと指さしたりする場面も見られた。	(a)	・今後もより見やすく、楽しい掲示板にしていきたい。

○ 児童家庭支援センター わかくさ

今年度の特徴・総括・特記・特筆事項

・児童相談所、こども家庭センター、教育委員会など関係機関における当センターの認知が高まっており、これらの機関を経由した相談ケースが増加傾向にある。令和 6 年度の相談件数は前年比で減少(△327 件/年)したものの、依然として 6,000 件を超えており、非常に多くの相談が寄せられている。また、令和 5 年度の行政監査において指導のあった援助計画の策定を行い、計画に基づいた支援の取組実施。今後もこの取組を継続し、計画的・組織的な支援体制の定着を図っていく。

事業計画				達成状況	中項目 評価	特記事項 (できたこと、できなかったこと、要改善点等)
大項目	中項目	具体策	指 標	【評価の基礎となった実績・事実又は状態】		
① 子どもの最善の利益の保証	ア 民間支援機関であるわかくさの強みを生かす。	・相談員、支援員育成と資質向上のための研修の実施及び受講(後期③) ・相談記録システム活用による間接業務の効率化推進	・相談件数 年間目標 4,500 件	・年間相談件数が 6,070 件であった。 ・相談記録システムの誤作動により、きちんとした相談件数の計数ができないトラブルが生じた。	(a)	・利用者からの苦情やトラブルが 1 度もなかった。 ・システム管理会社に連絡し誤作動の修正を行った。
	イ 家庭訪問を充実する。	・訪問支援対象者の適切な選定 ・アウトリーチ業務強化のため整備(車両入替など)	・訪問支援事業実施世帯 年間目標 15 世帯 ・上記以外の宅食支援世帯 年間目標 10 世帯	・訪問支援事業実施年間で 6 世帯 ・その他宅食世帯、18 世帯 ・車両の入替を行った。	(b)	・各区センターからの紹介が減っているので、訪問支援事業の世帯数が伸びなかった。
	ウ 援助計画にそって支援をしていく。	・対象者別の援助計画策定	・5月までに援助計画を策定し、年度末に振り返りを行う。	・会議にて援助計画の策定に取り組んだ。	(b)	・昨年度取り組めなかった援助計画の策定を行うことができた。

			(注) いずれの目標も、数字には計上できないものもあり、相談、支援事業の本質を見失わないよう留意しつつ推進する。			
② 関係者とのつながりと連携	ア 関係機関、地域とともに支える。 イ 関係機関、地域との情報共有を大切にする。	・開催される要対協実務者会議すべてに参加する。 ・年間 50 回以上関係者会議に参加する。	・要対協実務者会議への参加状況 ・関係者会議の参加状況	・16 回開催された要対協実務者会議すべてに出席した。 ・63 回の関係者会議に参加した。	(a) (b)	・実務者会議に参加することによって、他機関にわかぐさの存在が周知されてる。 ・わかぐさの存在が周知されることによって、関係者会議に召集されるようになった。
③ 専門性の向上と人材育成	ア 人材育成と資質向上	・循環型人材育成研修(I 研)へ参加するとともに、一人 1 回は外部の研修に参加する。	・各種研修の実施及び受講状況	・循環型人材育成研修に参加することができなかったが、外部研修には一人一回以上参加することができた。	(b)	・循環型人材育成研修と会議が、重複した事から参加が難しかったが、他の外部研修には一人一回以上の参加は出来た。

3. 児童の状況について
(1) 入退所の状況
① 広島乳児院（定員 29 名）・※広島市一時保護委託強化事業（定員 5 名）

(単位：人)

月	措 置 児 童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 ▽ %	市一時保護委託強化事業					
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員				前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 数
4	22	22	1	1	22	660	2	2	2	2	2	22	0	0	12	11	1	27	709	24	83	4	4	2	1	5	136
5	22	22	0	0	22	680	2	2	5	4	3	77	1	1	21	20	2	56	813	25	86	5	5	2	3	4	124
6	22	22	1	0	23	642	3	3	3	1	5	136	2	3	24	25	1	94	872	28	97	4	4	0	0	4	120
7	23	24	2	0	25	716	5	5	5	4	6	176	0	0	7	7	0	15	907	29	100	4	4	4	3	5	106
8	25	25	0	0	25	734	6	6	0	3	3	152	0	0	5	4	1	11	897	31	107	5	5	2	3	4	148
9	25	26	3	5	23	694	3	2	5	4	4	99	1	0	1	2	0	3	796	28	97	4	4	2	2	4	141
10	23	23	1	0	24	714	4	4	5	3	6	158	0	0	4	4	0	18	890	27	93	4	4	3	4	3	97
11	24	24	0	2	22	714	6	6	3	4	5	177	0	0	10	9	1	28	919	30	103	3	2	6	4	5	98
12	22	22	0	2	20	643	5	5	7	4	8	211	1	1	9	10	0	25	879	28	97	5	5	1	6	0	108
1	20	20	1	1	20	628	8	8	2	5	5	223	0	0	9	9	0	21	872	28	97	2	2	3	0	5	133
2	20	20	2	2	20	535	5	5	6	5	6	144	0	0	9	7	2	19	698	25	86	5	5	2	2	5	124
3	20	20	0	1	19	611	6	6	3	3	6	145	2	2	1	3	0	9	765	28	97	5	5	1	3	3	139
合計	268	270	11	14	265	7971	55	54	46	42	59	1720	7	7	112	111	8	326	10017	331	95	50	49	28	31	47	1474

広島乳児院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計	広島市一時保護委託強化事業
前年度末数	22	2	0	24	4
本年度入所数	11	46	112	169	28
計	33	48	112	193	32
本年度退所数	14	42	111	167	31
本年度末数	19	6	0	25	3

※ 措置児童に短期措置（第330号厚生省児童家庭局長通知）含む。

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

※ 広島市一時保護委託強化事業H24年度より委託開始（5名定員）

② 広島修道院（定員 56 名）

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 √ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	70	45	6	31	45	1320	0	0	1	0	1	13	0	0	8	6	2	19	1352	45	80
5	45	46	1	2	44	1370	1	0	0	1	0	0	2	2	13	14	1	38	1408	48	86
6	44	44	0	0	44	1320	0	0	0	0	0	0	1	1	8	9	0	17	1337	45	80
7	44	44	1	0	45	1365	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	10	1375	44	79
8	45	45	1	0	46	1370	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	0	15	1385	45	80
9	46	46	4	1	49	1407	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	8	1415	46	82
10	49	49	0	0	49	1519	0	0	2	2	0	32	0	0	13	11	2	28	1579	49	88
11	49	49	0	0	49	1470	0	0	0	0	0	0	2	0	6	5	3	11	1481	49	88
12	49	49	3	0	52	1534	0	0	0	0	0	0	3	0	4	7	0	9	1543	49	88
1	52	52	0	0	52	1550	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	4	1554	52	93
2	52	52	4	0	56	1470	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	4	1474	52	93
3	56	56	1	3	54	1668	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1669	56	100
合計	601	577	21	37	585	7363	1	0	3	3	1	45	8	3	78	78	8	164	17572	580	86

広島修道院の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計
前年度 末数	70	0	0	70
本年度 入所数	21	3	78	102
計	91	3	78	172
本年度 退所数	37	3	78	118
本年度 末数	54	0	0	54

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

③ 広島修道院きずなの家（定員 44 名）

(単位：人)

月	措置児童						一時保護児童						ショートステイ						延 人 員	初 日 合 計	充 足 率 △ 初 日 ▽ %
	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員	前 月 末 在 院 数	初 日 在 院 数	入 所	退 所	月 末 在 院 数	延 人 員			
4	17	42	25	0	42	1260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1260	42	95
5	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	95
6	42	42	0	0	42	1260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1260	42	95
7	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1304	42	95
8	42	42	1	1	42	1287	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4	1291	42	95
9	42	42	0	0	42	1260	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1261	42	95
10	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	95
11	42	42	1	0	43	1263	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1263	42	95
12	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	95
1	42	42	0	0	42	1302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1302	42	95
2	42	42	0	1	41	1165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1165	42	95
3	41	41	0	1	40	1249	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1249	41	93
合計	478	503	27	3	502	5254	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	7	15261	503	95

広島修道院きずなの家の入退所の状況

(単位：人)

	措置児童	一時保護児童	ショートステイ	合計
前年度 末数	17	0	0	17
本年度 入所数	27	0	4	31
計	44	0	4	48
本年度 退所数	3	0	4	7
本年度 末数	40	0	0	40

※ ショートステイ（子育て支援短期利用事業）

(2) 入所理由別の措置状況

① 措置児童 (単位：人)

	理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
家族の状況	拘禁	0	0	0	0
	離婚・別居・死亡	0	0	0	0
	遺棄	0	0	0	0
	父母家出・行方不明	0	0	0	0
	養育放棄・拒否	0	0	0	0
	怠惰・放任	0	0	0	0
	虐待（疑）	0	2	0	2
	就労・生活苦	0	0	0	0
家族の疾病	精神疾患	0	0	0	0
	その他の疾病	0	0	0	0
児童の問題	児童の問題による監護困難	0	0	0	0
その他	その他	5	0	2	7
措置変更	併設施設	15	25	9	49
	他施設	1	0	0	1
合 計		21	27	11	59

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む。
※ 併設施設は、院内。他施設は外部からの入所

② ショートステイ（子育て支援事業） (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
父母の入院・疾病	4	0	7	11
母の出産	1	0	1	2
父母の出張等	17	0	4	21
家族等の看護	0	0	0	0
冠婚葬祭	0	0	3	3
育児疲れ・不安	53	4	94	151
その他	3	0	3	6
合 計	78	4	112	194

③ トワイライトステイ（子育て支援事業） (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
利用件数	3	0	0	3
延べ日数	3	0	0	3

④ 里親レスパイト・ケア (単位：人)

理由	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
利用件数	5	3	15	23
延べ日数	12	8	31	51

(3) 退所理由の内訳（措置児童） (単位：人)

理由		修道院	きずなの家	乳児院	合 計
措置解除	家庭引取	3	0	1	4
	養子縁組	0	0	0	0
	自立就職	0	2	0	2
	無断外出	0	0	0	0
	死亡	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
措置変更	併設施設	31	1	6	38
	他の施設	1	0	3	4
	里親委託	2	1	4	7
	その他	0	0	0	0
自然終了	期間満了	0	0	0	0
家庭引取	家庭引取	0	0	0	0
その他	その他	0	0	0	0
合 計		37	4	14	55

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む。

(4) 年齢構成（男・女） 令和07年03月31日現在 (単位：人)

施設	年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18-	合計
広島修道院	男	0	0	1	5	2	2	2	3	2	1	5	2	2	0	1	3	1	0	0	32
	女	0	0	2	2	0	3	2	1	1	2	0	1	1	1	0	2	4	0	0	22
	計	0	0	3	7	2	5	4	4	3	3	5	3	3	1	1	5	5	0	0	54
広島修道院きずなの家	男	0	0	0	0	1	2	0	2	1	0	1	0	3	4	2	1	1	1	0	19
	女	0	0	0	0	1	3	0	2	2	1	3	0	2	2	0	1	0	3	1	21
	計	0	0	0	0	2	5	0	4	3	1	4	0	5	6	2	2	1	4	1	40
広島乳児院	男	1	6	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	女	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	計	3	10	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合 計	男	1	6	5	5	4	5	2	5	3	1	6	2	5	4	3	4	2	1	0	64
	女	2	4	2	2	1	6	2	3	3	3	3	1	3	3	0	3	4	3	1	49
	計	3	10	7	7	5	11	4	8	6	4	9	3	8	7	3	7	6	4	1	113

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む。

(5) 就園・就学児童の学年構成（児童養護施設） 令和07年03月31日現在 (単位：人)

教育 性別	幼 稚 園		小 学 生						中 学 生			高 校 生			大 学		合計
	年中	年長	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	
男子	5	3	5	3	1	6	2	5	4	3	4	2	1	0	0	0	44
女子	6	2	3	3	3	3	1	3	3	0	3	4	3	1	0	0	38
合計	11	5	8	6	4	9	3	8	7	3	7	6	4	1	0	0	82

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む。

(6) 措置機関別の当年入所措置状況 (単位：人)

措置機関	修道院	きずなの家	乳児院	合 計
広島市児童相談所	20	23	8	51
広島県西部こども家庭センター	1	3	2	6
広島県北部こども家庭センター	0	1	1	2
合 計	21	27	11	59

※ 乳児院・・・第330号厚生省児童家庭局長通知（短期措置）含む。

(7) 疾病の状況

対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 施設別、受診科別通院（入院）実績

（単位：件）

区分	乳幼児ホーム (乳児)	乳幼児ホーム (児童籍)	広島修道院	きずなの家	延べ件数
小児科	57(5)	101	56(1)	19	233(6)
外科・整形外科	0	9	21	49	79
耳鼻咽喉科	9	57	196	171	433
皮膚科	2	43	94	166	305
眼科	10	12	33	33	88
歯科	0	20	64	102	186
療育センター	31	49	78	48	206
脳神経外科	1	1	12	8	22
精神科	0	0	47	56	103
婦人科	0	0	0	8	8
感覚器科	0	0	0	5	5
合計	111(5)	292	601(1)	665	1,669(6)
うち男性	95(5)	219	385(1)	247	946(6)
うち女性	16	73	216	418	723

※（ ）は入院件数の内数

(令和5年度 1,444(4))

2 受診科別の主な病名

区分	主な病名
小児科	急性喉頭炎、川崎病、喘息様気管支炎、突発性発疹症、感染性胃腸炎、コロナウイルス感染症、インフルエンザ、肝機能障害、食物アレルギー、喘息、鼻炎、左肺動脈狭窄、便秘症、夜尿症、熱中症、溶連菌感染症、熱性痙攣、アデノウイルス感染症、水痘、予防接種、乳幼児健診 虫刺症 肺動脈狭窄、尿路感染症、ウィルス性胃腸炎、てんかん発作
外科・整形外科	後頭部打撲、頭蓋内出血、上肢打撲 尿道下裂 顔面挫創 硬膜下水腫、靱帯損傷、頭部外傷、前置肛門
耳鼻咽喉科	急性中耳炎、急性副鼻腔炎、滲出性中耳炎、外耳炎、耳垢塞栓、鼓膜穿孔、異物混入、アッシャー症候群、アデノイド増殖症、感音性難聴、人口内耳
皮膚科	蕁麻疹、乳児湿疹、アトピー性皮膚炎、皮脂欠乏症、刺虫症、火傷、伝染性軟属腫、ヘルペスウイルス感染症、帯状疱疹、尋常性疣贅、尋常性ざ瘡、顔面外傷
眼科	近視、アレルギー性結膜炎、遠視、結膜炎、近視性乱視、眼鏡処方、麦粒腫、間歇性斜視
歯科	齲歯、歯肉炎、歯石、歯垢、齲歯治療、外傷性歯肉炎、歯列不正、抜歯
療育センター	運動発達遅滞、リハビリ(自閉スペクトラム症)、言語障害、言語発達遅滞、ADHD、構音障害 ASD 発達性協調運動障害 難聴支援(ありんこ教室、山彦園)
脳神経外科	頭痛、統合失調症、小児神経症
精神科	ASD、ADHD、被虐待児症候群、睡眠障害、鬱症状
婦人科	月経困難症
感覚器科	鼻咽腔閉鎖不全症 ピエールロバンシークエンス

(8) 義務教育等終了児童の進路状況

広島修道院

性別	年齢	終了機関	進路	名称	学科	備考
男	15	広島市立二葉中学校	進学	広島県立工業高校	機械科	在籍
男	15	広島市立二葉中学校	進学	広島市立工業高校	自動車科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	山陽高等学校	普通科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	広島市立特別支援学校高等部	職業コース	在籍
男	15	広島市立二葉中学校	進学	広島市立特別支援学校高等部	普通コース	在籍

広島修道院きずなの家（本園・分園）

性別	年齢	終了機関	進路	名称	学科	備考
女	18	舟入商業高等専修学校	進学	安田女子大学	現代ビジネス学科	自立
女	18	県立安芸府中高等学校	進学	広島県理容美容専門学校	美容科	在籍
女	15	広島市立二葉中学校	進学	私立広陵高等学校	普通科	在籍
男	15	広島市立二葉中学校	進学	私立桜が丘高等学校	普通科	在籍

平成30年度～令和6年度までの保育園各年齢別初日在籍一覧表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	平成30年度	2	3	5	5	5	10	11	12	12	12	12	12	101
	令和元年度	6	8	9	9	9	9	9	9	9	9	12	12	110
	令和2年度	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	9	9	77
	令和3年度	3	6	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	95
	令和4年度	3	6	6	6	8	9	9	9	10	10	11	11	98
	令和5年度	4	5	5	7	8	7	10	9	10	10	10	10	95
	令和6年度	8	8	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	114
1歳	平成30年度	16	16	16	16	16	16	16	16	18	18	18	18	200
	令和元年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	182
	令和2年度	15	14	14	14	14	14	14	14	14	15	15	15	172
	令和3年度	14	15	15	15	15	15	15	15	15	16	16	16	182
	令和4年度	15	15	15	15	15	15	15	14	15	15	15	15	179
	令和5年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	令和6年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	178
2歳	平成30年度	13	13	13	13	13	15	15	16	16	16	16	16	175
	令和元年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和2年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215
	令和3年度	15	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	208
	令和4年度	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	213
	令和5年度	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	205
	令和6年度	17	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	198
3歳	平成30年度	18	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	233
	令和元年度	14	15	15	15	17	17	17	17	17	17	17	17	195
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
	令和3年度	17	18	18	18	18	17	17	17	17	16	16	16	205
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	211
	令和6年度	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	205
4歳	平成30年度	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	令和元年度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
	令和2年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和3年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和4年度	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192
	令和5年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和6年度	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	206
5歳	平成30年度	12	12	12	12	14	14	13	13	14	14	14	14	158
	令和元年度	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	188
	令和2年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	令和3年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	令和5年度	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204
	令和6年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
合 計	平成30年度	76	79	81	81	83	90	90	91	94	94	94	94	1,047
	令和元年度	87	90	91	91	94	94	94	94	94	94	98	98	1,119
	令和2年度	93	94	94	94	94	94	93	93	93	94	97	97	1,130
	令和3年度	84	91	92	92	94	93	94	94	94	94	94	94	1,110
	令和4年度	87	91	92	92	94	94	94	93	94	94	93	93	1,111
	令和5年度	88	90	90	90	92	94	94	94	95	95	96	96	1,114
	令和6年度	94	92	91	93	93	93	93	94	94	94	93	93	1,117

令和 6 年度事業報告

(10) 実施行事・日課の状況

① 実施行事 広島乳児院

月	行 事	内 容
4	花見遠足	各部屋でグランドの桜を見に行った。(4月5日)
5	子どもの日の集い	各部屋でこどもの日を祝う。こどもの日の由来を夕食時に聴いて行事食をいただく。(5月5日)
7	七夕	それぞれの部屋で七夕にまつわるお話を聞き、思いを込めて飾り作りを楽しむ。昼食時に行事食を頂く。(7月7日)
9	わんぱくまつり(夏祭り)	院庭に手作りのゲーム・お店屋さんごっこを楽しみ、各部屋で行事食を食べる。(8月28日)
10	秋の遠足	小グループに分かれてお出かけ。マリホ水族館、サーカス招待も受けた。
11	七五三	未就園女児2名が着物姿で担当者と共に比治山神社へお参りする。(11月2日)、男児1名、スーツで、広島東照宮へ参拝(12月12日)
12	クリスマス会(乳幼児)	各部屋でクリスマスのお話を聞き、クリスマス会を行い、サンタクロースからプレゼントをもらい、皆で楽しく会食する。(12月25日)
1	創立記念日	
2	節分	各部屋で節分にまつわるお話を聞き、子どもが鬼の面をつけて、豆まきを楽しむ。(2月3日)
3	ひなまつり	それぞれの部屋で和服姿になり写真撮影。クラスでプチパーティーをし、女児の成長を祝う。(3月3日)
	お別れ遠足	マリーナホップに未就園児、幼児と共に出かけた。(3月14日)、ヌマジ交通ミュージアムにも行った。
	お別れ会	各部屋でお別れのパーティをする。(3月27日) 各部屋でおやつを買いに行き、パーティをした。
備考	誕生日会	子どもの誕生月毎に、それぞれの部屋で祝う。 担当者と一緒に好きなものを買って、おやつを食べて帰った。部屋では、誕生日ケーキを食べ、皆でお祝いをした。

乳幼児ホームの日課																		
0 ヶ月 ～ 6 ヵ月	AM												PM					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	起床・更衣 自由遊び 検温 離乳食 自由遊び 自由遊び 離乳食 検温 沐浴 授乳 自由遊び 更衣・就寝																	
(授乳、おしめ換えは随時行なう)																		
7 ヶ月 ～ 12 ヶ月	AM												PM					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	起床・更衣 朝食 検温 自由遊び 午睡 検温 午睡 自由遊び 夕食 入浴 更衣・就寝																	
(授乳、おしめ換えは必要に応じて行なう)																		
13 ヶ月 ～ 4 歳児	AM												PM					
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
	起床洗面・更衣 朝食 横割保育 自由遊び 昼食 午睡 おやつ 自由遊び 夕食 入浴 更衣・就寝																	
(基本的生活習慣の発達を援助する)																		

② 実施行事 広島修道院

月	行 事	内 容
4	入園式 入学式 就任者研修（小、中学校） 安全委員会記念集会	矢賀幼稚園に2名入園 小学校へ2名、中学校へ1名、高等学校4名、各入学 就任者研修・家庭訪問 ホールにて全児童参加
5	なかよし運動会 小中学校家庭訪問 サッカー招待 GW 院外活動・外食 唱和の会 OB 会 あいあい福祉通り 広銀イベント	雨天中止 それぞれ受け入れ サンフレッチェ広島 ホームごとに行楽地や映画へ 歌の慰問活動受け入れ ボーリング大会を実施 和太鼓演奏 和太鼓演奏
6	稲荷祭 中学校体育祭 各高校体育祭 サッカー招待 和菓子の日 K1 ジム いっぽ	浴衣や甚平を着て楽しむ。 学年別の競技実施の形で実施 各高校の判断により、実施 サンフレッチェ広島 和太鼓演奏 近隣のジムから慰問受け。体操教室や簡単なパンチの練習など。 SST
7	七夕の会 ラジオ体操 夏季学習（小学生） 子ども会映画会 矢賀幼稚園夏祭り 吉和キャンプ 水分峡・中央公園ファミリープー ル サッカー招待 プロ野球招待 町内大掃除 子ども会球技大会 いっぽ 施設内キャンプ	各ホームにてそうめん会食 地域に開放 小学校の先生が来院し、実施 あいあいプラザにて実施 矢賀幼稚園生参加 加茂先生別荘にてキャンプ実施 男女ホーム別に2回実施 適時実施 小学生を中心に遊泳 サンフレッチェ広島 広島カープ 町内のゴミ拾い、草引き T ボール大会 SST 学習室でキャンプ遊び
8	町内盆踊り おひさまクラブ OB 行事 ふれあいキャンプ 広島東急映画招待 広養協親善なかよし球技大会 墓参り 夏休み院外活動 公文マラソン サマーパーティー 小学生 キャリア授業 東急映画会 プール活動 グランピング招待 いっぽ 総合キャンプ	児童、職員で参加。設営～準備も手伝う。 里子と男児数名、アクアスへ。 ボーリング大会 2泊3日、北広島の廃校施設で実施 109 シネマズ招待 児童40名、職員8名参加 小学生ソフトボール大会実施 児童15名、職員5名参加 児童、職員で実相寺、光福寺に参拝 ホームごとに実施 小学生対象 各学校、幼稚園を招いて実施 企業を見学 109シネマ（アルパーク）貸し切り チューピープール 小瀬川峡の施設に宿泊 SST 県内施設の中学生在が参加
9	尾長小学校体育参観日 CAP プロ野球招待 K1 ジム慰問 木下サーカス サッカー招待 小学校ソフトボール大会	小学生児童参加 限定的に分散実施 体育参観日として。 幼児、小学生が「権利」や「暴力からの逃げ方」を学ぶ 広島カープ 近隣のジムから慰問受け。体操教室や簡単なパンチの練習など。 福祉招待券を利用 サンフレッチェ広島 施設対抗ソフトボール大会

	中学校軟式野球大会 SST	施設対抗野球大会。他施設との連合で参加。
10	幼稚園運動会 尾長天満宮秋季大祭 中・各高文化祭 子ども会スポレク大会 お月見お茶会 電力総連「響」 ふれあいバスハイク ハロウィン	矢賀、的場。職員、保護者、関係者が応援する。 綱引き相撲個人戦に参加。和太鼓チーム鎮守の杜コンサート出演 合唱、展示など 体育館にてレクリエーション お団子を作って楽しむ。 小学位と労組青年部でバス遠足 こころの里親出合いの集い。動物園を散策。児童 30 名参加 ホールにて仮装大会
11	尾長ふれあいデー(日曜参観) あいあいプラザ祭 亥の子祭り 七五三 バルサン消毒 漫才招待 サッカー招待 全体旅行	小学生、保護者が参加 和太鼓演奏で出演 町内を練り歩き、餅つき 尾長天満宮に年中男児 4 名小学 1 年女児 1 名が参拝 地元出身の漫才師より招待 サンフレッチェ広島 全児童、全職員で大阪旅行
12	クリスマス会(町内子ども会) 院内餅つき 町内大掃除 院内大掃除 広島ドリミネーション鑑賞 サッカー招待 着ぐるみショー MDRT 観劇 町内夜回り	手作りゲームや出し物 児童・職員・OB・元職員らと交流 町内のゴミ拾い等 各ホーム担当を決め、大掃除をする。 各ホーム平和大通りのイルミネーション鑑賞 サンフレッチェ広島 歌と踊りのショー。 金融、生命保険有志団体と洗車やグラウンド整備 劇団四季「キャッツ」 小中有志で「火の用心」
1	初詣 院外活動 OB 行事 創立記念式典 とんど祭り 矢賀フェスタ	近隣の神社にお参りする。 学年ごとに分かれて実施 ボーリング大会 久しぶりに児童も参加 尾長小にて。地域行事だが全面協力 矢賀幼稚園関係児童が参加
2	節分企画 恐羅漢スノーパーク招待 サッカー招待	節分行事を楽しむ。鬼が各ホームを回る。 スキー・スノーボード招待。児童 12 名、職員 3 名参加 サンフレッチェ広島
3	ひな祭り・百人一首大会 卒業(園)式 卒業を祝う会 院外活動 公文シュークリームの会 バスケット招待 サッカー招待 子ども会お別れ会	「わかくさ基金」様を招いてお茶会も実施 的場幼稚園 1 名、矢賀幼稚園 2 名、特別支援幼児部 1 名、小学生 2 名、中学生 5 名それぞれ卒業 卒園・卒業生を祝う会を実施。夕食お祝いメニューで祝う。 ホーム単位でお別れ会を兼ね外食へ行く。 児童の公文式学習の学習進捗を評価し祝う。 広島ドラゴンフライズ サンフレッチェ広島 映画鑑賞

その他定期行事

毎月 (適時)	防火訓練（総合訓練、消火訓練、夜間訓練等） 身体測定 誕生日会（誕生日に各ホームで実施） 各ホームお祝い会実施 公文学習会（小、算数を指導）週3日実施 コグニティブトレーニング（個別学習） 安全委員会 応援委員会 性教育 年代別に実施 個別心理面接(心理士) 小学生キャリア学習 子どもの権利条約ワークショップ 個別聞き取り（西部、市） インフルエンザ予防接種 日本脳炎予防接種 新型コロナウイルスワクチン(適宜) アドボケイト	理髪奉仕ボランティア 和太鼓練習 田中学習会（塾） 啓誠塾・5days(塾) スマイルクラブ	職員会議 ケース会議 児童ホーム主任会議 各係・ホームの連絡会 広養協各会議等 給食会議 心理療法士との連絡会 小学校との連絡会 尾長小協力者会議 中学校との連絡会 各校授業参観 町内組長会議 尾長社協定例会 子ども会各部会 あいさつ運動（小、中）
毎週	嘱託医来診（毎週木曜日）		

児童ホームの日課																			
	AM											PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
平日		起床・洗面	朝食	登校	登校		降園・幼児		降園・幼児	間食	下校・低学年・学習	下校・高学年・学習	夕食準備	夕食	自由時間・学習	歯磨・小学生・幼児	就寝・中学生	就寝・高校生	
入浴：幼児小学生 16:00～17:30 中高生 18:00～22:00 まで																			

休 日	AM												PM							
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
		起 床 ・ 洗 面	朝 食		学 習		昼 食	自 由 時 間		間 食	自 由 時 間		夕 食	自 由 時 間 ・ 学 習	就 寝 ・ 小 学 生 ・ 幼 児		就 寝 ・ 中 学 生	高 校 生		
	起床時間		平日 AM 7:00		休日 AM 8:00		就寝時間		幼児・小学生 PM 8:00		中学生 PM 10:00		高校生 PM 11:00							

児童ホームの年中及び年長児（5～6 歳児）は的場幼稚園、矢賀幼稚園に通園し保育を受ける。
 年少児（2～4 歳児）の保育は乳幼児ホームの生活指導の中に組み入れて院内で行なう。幼稚園に 2 年間通園し地域への参加をより多く持つことで、社会性を養っていく。更に、保護者や里親さんとの関わりを多く持つことにより情緒の安定を図る。児童ホームは 10 グループの単位集団を形成し、基本には幼児、小中学生、高校生を分け横割り年齢構成として各ホームで担当職員と専任職員が生活支援にあたる（うち 3 ホームは中高生女子、小学生女子、縦割り男子の小規模グループケアホーム）。

令和6年度事業報告

④ 実施行事 広島修道院 きずなの家本園

月	行 事	内 容
4	・尾長小就任者研修 (4/3) ・二葉中就任者研修 (4/4) ・安全委員会集会 (4/5) ・入学式小中 (10 日) ・入園式 (4/10) ・家庭訪問 (4/19) ・丸山自治会合同防災訓練 (20) ・カープ野球招待 (4/20) ・春の会 4/21	・小学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・中学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・今年度委員の紹介と安全・安心な生活を目指すことの確認の集い。(男女児 17 名) ・二葉中学校 (男児 2 名) 尾長小学校 (女児 2 名)・荒神町小学校 (男児 1 名) ・的場幼稚園入園式 (女児 1 名) ・小学校の各担任が来院され担当職員と懇談する。 ・丸山地域の方との合同避難訓練、分園 202 洗面所のドライヤーが出火元 ・①ワイテックさん招待 (男児 5 名) ・②泉会さん招待 のぞみ (女児 4 名) - マツダスタジアム VS 巨人 (男児 5 名 女児 4 名) ・新任職員、移動職員、移行児童等顔合わせ会として自己紹介と BBQ で交流を深める。
5	・院外活動 (5/4) ・院外活動 (5/5) ・院外活動 (5/6) ・カープ野球招待 5/5 ・第 70 回児童福祉施設親善 なかよし運動会 (5/12)	・のぞみ、恐竜展他外食を楽しむ。(女児 5 名) ・みのりアスレチック他 外食を楽しむ。(男児 4 名) ・あゆみ映画鑑賞、買い物 外食を楽しむ。(女児 6 名) ・自衛隊から野球招待 VS DeNA のぞみ・あゆみ (女児 10 名) ・阿品台東小学校にて各施設が集い運動会 (雨天中止)
6	・丸山子ども会新入生歓迎会 (6/8) ・稲荷祭 (6/8) ・カープ (6/9) ・SST [いっぽ] ①② (6/23)	・修道院講堂にて新入生歓迎会をしてゲーム等をして交流する。(男児 2 名 女児 4 名) ・部屋単位で稲荷祭に参加 デリバリー、外食をする。(男児 6 名 女児 9 名) ・みのり (男児 4 名) ・ガーデンパレス 開校式・第 1 回ビジネスマナー・第 2 回テーブルマナー講習 高校生 (男児 1 名 女児 2 名)
7	・尾長学区子ども会 T ボール大会 (7/6) ・きずなの家七夕会 (7/7) ・町内清掃 (7/21) ・尾長学区子ども会映画鑑賞会 (7/20) ・夏季学習 (小学生) (7/24) ・SST [いっぽ] (7/28) ③④ ・夏季学習 (小学生) (7/24)	・T ボール参加 (男児 3 名 女児 3 名) ・短冊に願い事を書き、笹に飾る。各部屋で食事 ・町内清掃 (草取り等) 小学生参加 (男児 3 名) ・あいあいプラザにて「マイ・エレメント」を鑑賞 (男児 3 名 女児 6 名) ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊ぶ。(小学生男児 3 名 女児 3 名) ・広島ガーデンパレス 第 3 回「伝え方と受け止め方」第 4 回「就職活動セミナー」 (女児 1 名) ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊ぶ。小学生 (男児 3 名 女児 3 名)
8	・広養協総合キャンプ (8/1.2) ・木下大サーカス鑑賞 (8/2) ・町内盆踊り大会 (8/4) ・墓参り (8/10) ・早朝避難訓練 (8/20) ・東急映画招待 (8/20) ・サマーパーティー (8/23) ・SST [いっぽ] (8/25) ・夏休み院外 (活動) ・公文マラソン (8/23) ・親善なかよし球技大会 (8/30)	・中学生県民の森にてキャンプ (中学男児 2 名) ・木下大サーカス招待を受け観覧 (男児 3 名 女児 3 名) ・尾長公園で地域の盆踊り大会に参加 (男児 6 名、女児 7 名) ・児童、職員で実相時、光福寺に参拝 (みのり男児 3 名) ・法人で 5 時半から早朝火災避難訓練実施 (男児 6 名 女児 10 名) ・東急映画招待 「ミニヨン」中学生以下 (男児 4 名 女児 6 名) ・児童ホームと共働開催夏休みの小中学校の教諭を招待し BBQ 等をし、がんばった児童を表彰する。 ・広島ガーデンパレスにて第 5 回「若者への法律教室」第 6 回「雇用主の話」 中高生 (女児 2 名) ・①のぞみの部屋 8/13 木下大サーカス (女児 1 名) ・②あゆみの部屋 8/12 ちゅーピープール 映画鑑賞 外食 (6 名) ・③みのりの部屋 8/15 廿日市に釣りに行く。(男児 4 名) 8/19 ちゅーピープール (小学生男子 3 名 中学生 1 名 高校生 1 名) ・本園と合同で公文学習を実施 (男児 4 名 女児 3 名) ・小学生ソフトボール大会を児童ホーム合同チームで参加 (新生学園) (男児 1 名)
月	行 事	内 容
9	・キャリア学習会 (9/7) ・夏の会 (9/23) ・なかよし球技大会 (9/10) ・SST [いっぽ] (9/29)	・企業見学 (中 3 女児 1 名) ・きずな裏にて夏休みの頑張りを表彰 (全児童) ・児童養護施設軟式野球大会参加 新生学園 (小学生男児 1 名) ・広島ガーデンパレスにて第 7 回「身だしなみセミナー」(女子高校生 2 名)

令和 6 年度事業報告

	・カープ野球招待 (9/16) ・カープ野球招待 (9/21) ・中学校野外活動 (9/24～26) ・広養児童軟式野球大会 9/29 ・小学校運動会 (9/30) ・小学生院外活動 (30)	・マツダスタジアム VS 横浜 (女児 5 名) ・マツダスタジアム VS 巨人 (男児 6 名) ・国立江田島青少年交流の家 (中 1 男児 2 名) ・新生学園にて合同チームで参加 (高校男児 1 名) ・小学校で運動会 (小学生男 3 名 女児 2 名) ・小学校代休のため安佐動物公園に院外活動 (男児 2 名 女児 3 名)
10	・的場幼稚園運動会 (10/12) ・安芸府中高校修学旅行 (10/8～) ・翔洋高校修学旅行 ・尾長学区こども会スポレク大会 (10/14) ・尾長天満宮こども神輿・綱引き 1 ・鎮守の森コンサート (10/20) ・のぞみ院外活動 (10/20) ・小 5 野外活動 (10/27.28) ・電力総連「響」(10/26) ・荒神町小運動会 (10/26) ・SST [いっぽ] (10/27)	・的場幼児 (女児 2 名) ・10/8-11 東京ディズニーランド他 (高 2 女児 1 名) ・10/15-18 東京等 (高 2 女児 1 名) ・尾長小学校でスポーツレクリエーション (男児 2 名 女児 3 名) ・10/21 子ども神輿・綱引き相撲大会 (雨天のため中止) ・尾長天満宮で和太鼓演奏 (女児 2 名) ・安佐北区野外活動センター (男児 1 名 女児 1 名) ・電力総連さんの招待により八天堂で見学やクリームパン作り等の体験をする。(小学生男児 3 名 女児 4 名) ・(小 1 男児 1 名) ・第 8 回「悪徳商法被害防止セミナー」・第 9 回「金融教育」(高校生女子児童 2 名)
11	・あいあいプラザ祭り (11/3) ・こころの里親出合いの集い (11/9) ・七五三 比治山神社 (11/16) ・丸山自治会亥の子祭り (11/17) ・SST [いっぽ] (11/24) ・県工高修学旅行 (11/26-29) ・広養協なかよし球技大会 (11/30)	・舞台発表で和太鼓演奏。(女子児童 3 名) ・ふれあい里親さんとバスハイク (安佐動物園) (小学生 4 名) ・比治山神社にて七五三参拝 (小 2 女児 1 名 年長幼児 1 名) ・亥の子祭りで亥の子槌について尾長地区を回った。(小学生男児 3 名 女児 5 名 年長児 2 名) ・第 10 回「携帯電話の安全教室」 ・閉校式 (高校生男児 3 名 高校生女子 2 名) 高校生女児は優勝した。 ・沖縄県 (高 2 男児 1 名) ・警固屋体育館 女子卓球大会参加 (高校生女子 1 名 小学生女児 1 名)
12	・ガムサッカー招待 (1) ・尾長学区クリスマス祭り (22) ・クリスマスパーティー (25) ・院外活動あゆみ (26) ・餅つき (27) ・大掃除 (27) ・院外活動のぞみ (30)	・エディオンスタジアム サンフレッチェサッカー招待 (小中高生 4 名) ・小学校でゲームやキャンドルサービスを楽しむ。(小学生男児 3 名 女児 5 名) ・部屋ごとの開催、きずな裏庭にてビンゴでプレゼント交換をして楽しむ。 ・広島ドリミネーションを観て街を散策 (女児 6 名) ・児童、職員で正月用の餅をついてその場で食べたりして楽しむ。 ・部屋ごとに大掃除をする。 ・みろくの里にて遊園地で遊び外食をして楽しむ。(女児 6 名)
1	・院外活動 (1/1.～5) ・創立記念式典 (6) ・尾長地区とんど祭り (13)	・6 日備北丘陵公園 (みのり男児 6 名)、5 日あゆみ映画鑑賞 ・式典後、当時を偲んで麦飯とスイートンを食べる。(男児 5 名 女児 8 名) ・尾長小学校にてとんど祭りを開催 (幼児女児 2 名 小学生男女児 8 名)
2	・節分豆まき (2/2)	・きずな裏で幼児、小中学生対象に職員が鬼に扮して豆まきを実施
3	・あゆみ卒業旅行 (1.2) ・小・中・高校各卒業式 ・民生委員さんとの交流会 (9) ・丸山子ども会お別れ遠足 (10) ・院外活動 (16.17.21) ・卒業・卒園を祝う会 (21) ・公文シュークリーム会 (26) ・外食 (27.28)	・高校卒業記念に部屋の高学年 3 人で尾道に、一泊二日で尾道を旅行して思い出づくりをする。 ・(19) 小学男女 1 名、(7) 中学校女児 1 名、(6) 高校女児 1 名が卒業する。(安芸府中高校) ・あいあいプラザで交流会 調理・お菓子作り (女児 3 名) ・ラウンドワンでボーリングとリーガロイヤルホテルで食事をする。(6 年生男女各 1 名) ・(のぞみ 21) 女児 4 名 (みのりキャンプ 16.17) 外食 (男児 7 名) ・それぞれの卒業、巣立ちを祝う。(全児童) ・日頃の公文学習の成果を発表し頑張りを表彰する。(男児 4 人 女児 3 人) ・3/27 (のぞみ児童 6 名)・3/28 (みのり児童 6 名)

令和 6 年度事業報告

その他定期行事

毎月 (適時)	防火訓練（総合訓練、消火訓練、土砂災害訓練、夜間訓練等） 身体測定 誕生日会（誕生日に各部屋で実施） 公文学習会 週 3 日以上実施 安全委員会 個別聞き取り（西部、市） メンター活動	和太鼓練習 サッカー教室 スイミングスクール 啓誠塾 そろばん教室 スマイルクラブ	職員会議 ケース会議 部屋会議 主任・専門員会議 広養協各会議等 給食会議 小学校との連絡会 中学校との連絡会 各校授業参観 PTC 子ども会各部会 あいさつ運動（小、中）
毎週	嘱託医来診（毎週木曜日） 学習指導（毎週月）		

きずなの家は家庭的養育を標榜しているため、時間で区切った明確な日課の設定はしておりません。
部屋ごとに、子どもの年齢構成、状況に応じて、健康に留意し、社会通念から逸脱しない基本的な生活リズムを守ること
を念頭に生活を送っております。

令和6年度事業報告

実施行事 広島修道院 きずなの家分園

月	行 事	内 容
4	・尾長小就任者研修 (4/3) ・二葉中就任者研修 (4/4) ・安全委員会集会 (4/5) ・小) 中) 入学式 (4/10) ・高) 入学式 (4/10) ・幼稚園) 入園式 (4/11) ・小) 家庭訪問 (4/19) ・丸山自治会合同防災訓練 (4/20)	・小学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・中学校の先生方が来院懇談、新規着任の先生は施設の説明を実施 ・今年度委員の紹介と安全・安心な生活を目指すことの確認の集い。(男・女児23名) ・尾長小学校(男児1名 女児2名) 二葉中学校(男児2名 女児2名) 入学 ・中川学園(高校男児1名) 入学 ・矢賀幼稚園3名(年中男児2 年中女児1) 入園 ・的場幼稚園2名(年少男児 年少女児1) 入園 ・小学校の各担任が来院され担当職員と懇談する。 ・丸山地域の方との合同避難訓練、分園202洗面所のドライヤーが出火元 男児9名女児11名参加(3名は部活・習い事)その後、10名程度の方が分園を見学
5	・GW活動&外食 (5/4・5/5) ・親善なかよし運動会 (5/12) ・中) 体育祭 (5/23) ・広銀「感謝の集い」(5/25) ・きつつき福祉通り (5/26)	・202 SOSU ATHLETE で活動後サイゼリアで夕食を外食(子4名)(5/4) ・302 映画(ドラえもん・コナン)、食べ放題で夕食を外食(子6名)(5/4) ・201 空城山公園後ガストで夕食を外食(子5名)(5/5) ・301 幼児(アンパンマンショー)、小中(映画コナン) 後外食(子5名アルバイトの高校生は夕食のみ)(5/5) ・雨天中止 ・二葉中学校グラウンドにて体育祭(男児6名 女児2名) ・ホテルグランビアにて和太鼓演奏(男児1名 女児4名) ・あいあいプラザにて和太鼓演奏 (男児2名 女児4名)
6	・サンフレッチェ招待 (6/1) ・丸山子供会新入生歓迎会 (6/8) ・稲荷祭 (6/8) ・和菓子の日寄贈式 (6/16) ・K1 慰問 (6/22) ・SST [いっぽ] ①② (6/23) ・フマキラー招待 野球観戦 (6/27)	・ピースウイング広島にてサッカー観戦 (202 中学生3名) ・ミニゲーム等で入会を歓迎する会を修道院講堂にて開催(男児3名 女児5名) ・幼児5名・小学生7名は甚平、小6女子～高校生5名は浴衣で広島のお祭りを楽しむ。(私服男児6名) ・広島県生菓子工業会様からの寄贈のお礼を込めて和太鼓演奏(児童13名 本園5名 分園7名) ・修道院講堂にてK-1GYM 光町スタッフによるK1体験(幼児4 小7 中1名) ・ガーデンパレス 開校式・第1回ビジネスマナー・第2回テーブルマナー講習(高校生男児1名 女児2名 中学生1名) ・ズームズームスタジアムにてカーブ観戦(小女児2名)
7	・尾長学区子供会Tボール大会 (7/6) ・町内清掃 (7/21) ・尾長学区子ども会映画鑑賞会 (7/20) ・ラジオ体操 (7/24～8/4) ・小学生夏季学習 (7/24) ・SST [いっぽ] ③④ (7/28) ・福祉招待木下大サーカス (7/29) ・泉会招待 野球観戦 (7/30)	・尾長小にてTボール(男児3名 女児5名) ・町内清掃・草取り(男児7名 女児7名) ・あいあいプラザにて「マイ・エレメント」を鑑賞(男児4名 女児5名) ・きずな分園のエントランスでラジオ体操をする。(幼児・小学生・中学生など7～8名) ・尾長小学校教師が来院し学年別に学習指導を実施後遊ぶ。(男児4名 女児5名) ・広島ガーデンパレス 第3回「伝え方と受け止め方」第4回「就職活動セミナー」(男児1名 女児2名) ・マリーナホップにてサーカスを観賞(幼男女5名 小男児2名 小女児5名) ・ズームズームスタジアムにてカーブ観戦(幼男児1名 小女児1名)
8	・広養協総合キャンプ (8/1～8/2) ・丸山地区盆踊り大会(8/4) ・夜間想定避難訓練 (8/13) ・墓参り(実相寺/光福寺) (8/14～8/18) ・キャラヤ学習 (8/8) ・東急映画招待 (8/20) ・公文マラソン (8/23) ・サマーパーティー (8/23) ・SST [いっぽ] (8/25) ・世帯(活動)	・森林公園にて広島県下施設中1・2が集うキャンプ(男児3名 女児1名) ・尾長第2公園で地域の盆踊りに幼児から高校生まで20名参加 ・分園のみで20時から火災避難訓練(男児12名 女児10名) ・14日301(6名)201(5名)、16日202(5名) 18日302(6名) ・対象の(中3児1名) ・「ミニヨン」幼児～高校生まで23名 ・児童H、きずな本園と合同で講堂にて実施(小男児4名 小女児5名) ・児童H、本園と共同開催、グラウンドにてゲーム他、個々の頑張りを労い表彰。幼・小・中の教諭も多数参加(分園児23名) ・広島ガーデンパレスにて第5「若者への法律教室」第6回「雇用主様の話」(高校生女児1名) ・202 岡山県ラウンドワン日帰り・外食(子4名)(8/8) ・201 清流の家日帰り・外食(子6名)(8/16) ・302 福山市みろくの里日帰り・外食(子6名)(8/19) ・301 似島一泊(子6名)(8/20～8/21)
月	行 事	内 容
9	・広養なかよし球技大会 (9/1) ・尾長小に泊まろう会 (9/1) ・キャラヤ学習会 (9/7)	・台風の影響で日程変更 新生学園にて 児童H、き本園合同チームで優勝(男児4名) ・台風の影響で1日のみAM開催(女児1名) ・企業見学(中3男児1名)

令和6年度事業報告

	・お月見会 (9/17) ・中1 野外活動 (9/24～9/26) ・SST [いっぽ] (9/29) ・小学校運動会 (9/30)	・各世帯毎で団子を作り、お月見を楽しむ。 ・国立江田島青少年交流の家 (男児2名 女児2名) ・広島ガーデンパレスにて第7回「身だしなみセミナー」(男子高生1名 女子高生2名) ・尾長小学校で運動会 (男児4名 女児5名)
10	・矢賀幼稚園運動会 (10/5) ・的場幼稚園運動会 (10/12) ・尾長学区こども会スポレク大会 (10/14) ・進徳高校修学旅行 (10/15～10/18) ・こども神輿・綱引き相撲 (10/19) ・鎮守の杜コンサート (10/20) ・電力総連「響」(10/26) ・SST [いっぽ] (10/27) ・矢賀バス遠足 (10/29)	・矢賀 (年中男児2名 女児1名) ・的場 (年少男児1名 女児1名) ・尾長小学校でスポーツレクリエーション (男児4名 女児5名) ・東京・ディズニーランド・中華街 (女児1名) ・神輿後、尾長天満宮にて綱引き相撲大会 (男児4名 女児5名) ・尾長天満宮にて和太鼓演奏 (中女児2名 小男児2名 小女児3名) ・電力総連さんの招待により八天堂で見学やクリームパン作り等の体験をする。(小学生男児4名 女児5名) ・第8回「悪質商法被害防止セミナー」第9回「金融教育」 ・(年中男児2名 女児1名)
11	・あいブラまつり (11/3) ・こころの里親出合いの集い (11/9) ・七五三参拝 (11/10 11/18) ・尾長地区亥の子祭り (11/17) ・SST [いっぽ] (11/24) ・広養協なかよし球技大会 (11/30)	・あいあいプラザにて和太鼓出演 (中女児2名 小男児2名 小女児3名) ・ふれあい里親さんとバスハイク (安佐動物園) 小学生9名 ・鶴羽神社にて (小1 女児1名) 尾長天満宮にて (年中男児2名) ・亥の子祭りで6年生は鬼役、5年生以下は亥の子槌について尾長地区を回る。(小学生9名 幼児3名) ・第10回「携帯電話の安全教室」閉講式 ・警固屋体育館 女子卓球大会参加 (中学生2名 小学生4名) 団体戦準優勝
12	・サンフレッチェ招待 (12/1) ・尾長学区クリスマス (12/22) ・クリスマスパーティー (12/24) ・ドリミネーション (12/15～12/28) ・院内餅つき (12/27) ・丸山自治会防災パトロール (12/27～12/29)	・ピースウイングでのサッカー観戦 (中男児4名 中女児1名 小女児1名) ・小学校でゲームやキャンドルサービスを楽しむ。(小男児4名 女児5名) ・世帯ごとの開催、地域交流室よりネット繋ぎビンゴ大会も楽しむ。 ・広島ドリミネーションを観て街を散策。世帯毎で夜景を楽しむ。 ・児童、職員で正月用の餅をついたり丸めたり、つき立てのお餅をその場で食べながら正月に向け楽しむ。 ・丸山自治会の方と「火の用心」と言いながら町内を歩く。(小6 男児2名 女児1名)
1	・世帯活動 ・創立記念式典 (1/6) ・尾長地区とんど祭り (1/13)	・301 映画・夕食テイクアウト (1/2) 202 ボーリング・カラオケ・外食 (1/3) 302 映画・外食 201 映画 (幼小)・カラオケ (高学年) (1/6) ・式典後の昼食に、当時を偲んで麦飯とスイートンを食べる。(24名) ・尾長小学校にてとんど祭りを開催 (幼児男女児5名 小学生男女児9名)
2	・節分豆まき (2/2) ・卒業旅行 301 (2/16～2/17) ・恐羅漢スノーパーク招待 (2/22)	・本園・分園職員1人ずつ鬼になり、計2名で分園各世帯に入り、幼児、小学生対象にお腹の中の弱い鬼を豆で退治する。 ・アボルケ・カオリさんの卒業旅行で大分県に泊、301 児もハーモニーランドで合流日帰り旅行を楽しむ。(301 部屋6名) ・小6～高3 対象でスキー・スノーボード体験 (男児5名 女児3名)
3	・小・中・高校各卒業式 ・丸山子ども会お別れ遠足 (3/8) ・民生委員さんとの交流会 (3/15) ・野球部遠征 (3/15～3/16) ・卒業・卒園を祝う会 (3/20) ・尾長学区おめでとう餅つき (3/23) ・公文シュークリームの会 (3/26) ・まとめ・スタートの会 (3/26) ・ドラゴンフライズ招待 (3/30)	・小学3名 (3/19) 中学校1名 (3/7) 高校1名 (3/8) が卒業する。 ・ビュッフェランチ後、ラウンドワン (6年生男児1名、女児1名) ・あいあいプラザで交流会 調理・パン作り (女児4名) ・岡山・倉敷にて野球部の遠征に参加 (中学男児1名) ・それぞれの卒業、巣立ちを祝う。 ・小学生対象、あいあいプラザにて餅つき映画「ドラえもん」を楽しむ。(小9名) ・本園・分園合同で会議室で日頃の頑張りを表彰する。(小男4、小女子5、幼男3、幼女2名) ・地域交流室に集い、一人一人の頑張りを表彰し、一年のまとめと新年度に向けての励ましの会 (分園全児24名) ・サンプラザホールにてバスケットボールの試合楽しむ。(男児8名、女児10名)

令和 6 年度事業報告

その他定期行事

毎月 (適時)	公文学習会(小学生週3日実施、幼児導入期間) 安全委員会(毎月の聞き取り) 個別聞き取り(市、西部) お祝い会(各世帯で子どもの良いところを褒め 分かち合う時間をつくる) ＊誕生日会(誕生日に各世帯で実施) ＊身体測定(身長体重を年2回以上) 法人内消防訓練(職員持ち回り) ＊防火訓練(土砂災害訓練、夜間訓練等年2回)	和太鼓練習 尾長ジュニア スイミングスクール 田中学習会/トライ学習塾 公文教室 児童アフターケアひかり スマイルクラブ	運営会議(主任以上) 世帯会議/職員会議 ケース会議/OJT ミーティング 給食会議 広養協各部会・会議等 小学校との連絡会 中学校との連絡会 各校授業参観 PTC あいさつ運動(小、中) 子ども会各部会
毎週	嘱託医来診(毎週木曜日)		

きずなの家分園は、家庭的養育を標榜しているため、時間で区切った明確な日課の設定はしていません。
 世帯ごとに、子どもの年齢構成、状況に応じて、健康に留意し、社会通念から逸脱しない基本的な生活リズムを守ること
 を念頭に生活を送っております。

④ 実施行事 広島修道院保育園

広島修道院保育園		
月	年間行事	内 容
4	はじまりの会	・一つ大きくなったことを子ども、職員で祝い、新年度をスタートした。
	空組クラス懇談会・交流会	・保護者同士も交流しながら、今年度の保育の目標等について伝えることができた。
5	月組・星組・きりん組 クラス交流会・懇談会	・年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
6	卒園児交流会	・卒園児が植えたジャガイモを収穫し、近況報告など交流を楽しんだ。
	ひよこ組・うさぎ組クラ ス交流会・懇談会	・年齢の発達や今年度の保育の目標について伝え、保護者同士も交流することができた。
	歯科検診・定期健康診断	・子どもたちの健やかな成長を見守るために実施
7	たなばた	・七夕の由来について知ると共に、宇宙へ興味が広がった。
	プールびらき	・夏のプール遊びが充実するようにできた。
	おとまり保育	・保育園で一泊し、色々な体験を通して、自主性・社会性・協力することの大切さを学んだ。
8	クラス参観	・各クラス3日間ずつ、夏のあそびやプールあそびの様子を見てもらうことができた。
	なつまつり	・ゲームのコーナーを中心に一堂に会して開催でき、親子での楽しい時間を作ることができたが、暑さが課題
9	お父さん保育応援日	・園庭・プール掃除・畑の草取りとお父さんに保育環境整備に貢献して頂いた。
10	うんどうかい	・子どもたちの成長を保護者と共に共有する場となった。
11	秋の遠足・散歩	・秋の自然を味わいながら、しっかりと歩いて全身運動としても保障できた。
12	きりん組クラス交流会	・劇ごっこなど子どもの成長を保護者と共有し、親子での交流の場となった。
	クリスマス会	・サンタクロースという夢の世界を広げ、楽しむことが出来た。
	もちつき	・昨年に引き続きもちつきを保護者の協力を得て開催し、日本の風習に触れることができた。
1	空組クラス交流会	・園での子どもたちの様子、集団の中でのそれぞれの様子をを見て頂くことができ良かった。
2	節分会	・節分の由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解することにつながった。
	星組クラス交流会	・楽器あそびなど子どもの成長を保護者と共有し、親子での交流の場となった。
3	ひなまつり会	・ひなまつりの由来を知り、日本の伝統行事を子どもなりに理解し、楽しんだ。
	卒園式 はっぴょうのかい	・年中児も参加し、年長の卒園を共に祝う事ができた。 ・年中は、一年間の思い出を歌と共に、年長はお話し作りから自分たちで取り組み創作劇を自分たちで進め、成長したことを保護者と喜び合うことができた。
	おわりの会	・大きくなった自信を胸に、進級することを楽しみにすることが出来た。

健康支援	・園医による内科健診年2回・歯科検診1回を行った。		
環境・衛生管理	・施設内外の設備、用具等の清掃、消毒、安全管理及び月1回の自主点検 ・年1回の害虫駆除と大掃除		
安全対策 事故防止	・災害を想定して訓練をした。火事（毎月）、地震（年2回）、不審者（年3回）、プール遊び時に水難訓練1回、 SISD 対応訓練（4回）、土砂災害避難訓練（2回） ・交通安全の日…毎月19日前後を交通安全の日として、保育園だよりや門に旗を立て呼びかけ、園児にも指導した。 ・園外保育、調理保育におけるマニュアルの周知		
保護者支援	・育児ノート、連絡帳、送迎時の対話、園内の掲示による連携・行事を保護者支援の視点でも行うよう配慮		
小学校との連携	・幼保小連携推進委員会・尾長小との交流会 ・保育所児童保育要録の送付		
地域支援	・「保育園で遊ぼう」「わかばパパ、ママ教室」の実施		
研修計画	・園外研修への計画的な参加ができた。 ・園内研修を行う。	自己評価	・保育士の自己評価 ・保育所自己評価

4 相談事業の状況について

〔児童家庭支援センター わかくさ〕

相談日時 10時～19時（水曜日及び年末年始は閉所）電話にて24時間受付可
相談員 主任相談員1名、相談員2名、心理療法等担当職員1名、児童等見守り担当職員1名
広報 広島市から関係機関へチラシを配布
特記事項 児童相談所や福祉事務所からの紹介も多く頂いており、昨年実績（6,397件）に
匹敵する件数となりそうである。

令和5年4月～令和6年3月 児童家庭支援センター運営事業実績報告書

県名： 広島県 センター名： 児童家庭支援センターわかくさ

A、相談件数（個別相談・指導） ※設置運営要綱4－（1）（4）の一部等に該当

1、個別相談

（1）月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受入人数	95	30	17	18	11	15	14	8	8	23	9	5	253
継続相談人数	0	76	84	75	75	79	89	80	101	103	80	81	923
月別相談実人数	95	106	101	93	86	94	103	88	109	126	89	86	1176

<※月別相談実人数①は相談を受け付けた方の実人数>

（2）月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	291	283	271	297	268	248	268	209	320	242	228	241	3166
来所相談	50	36	39	33	38	48	39	43	52	64	43	34	519
訪問相談	227	251	161	151	203	162	156	163	142	196	113	154	2079
心理療法等	6	6	6	4	4	7	17	7	6	8	9	10	90
メール相談	14	22	25	8	17	18	20	14	25	17	18	18	216
手紙相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月別延件数	588	598	502	493	530	483	500	436	545	527	411	457	6070

<※月別相談延件数は、実際に支援を行った回数のこと>

（3）相談・指導内容の種別延件数

※（再）は再掲

養 護 虐待（再）	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	DV	その他	合計
				性格行動	不登校	適 性	しつけ				
4680	2438	23	0	57	182	254	158	624	0	92	6070

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

（4）相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健所 及び 医療機関	学校等	家族 親戚	近隣 知人	児童 本人	18歳 以上本 人	里親 里子	その他	合計
児童 相談所	福祉 事務所	その他	保育所	その他									
709	730	10	238	16	10	247	2174	1	1908	1	0	26	6070

<※月別相談延べ件数②と③と④は同数>

B、児童相談所からの委託による指導 ※設置運営要綱4－（3）に該当

< 対応延べ数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥ 実人数 0 人 <※委託を受けた人数>

< 指導内容の種別 >

養 護 虐待（再）	保 健	障 害	非 行	育 成				いじめ	その他	合計
				性格行動	不登校	適性	しつけ			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 心理療法事業の状況について

目 的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1 名（児童養護施設 広島修道院）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 職員への助言及び指導
(4) ケース会議への参加
(5) その他
・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成 11 年 7 月 1 日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 10 名（児童養護施設 広島修道院）
(2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	広島修道院
心理療法	154
心理検査	0
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	39
その他	適宜
計	193

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
3 歳～学齢前	0	0	0	0	0	0	0
小学生	1	8	0	0	0	0	9
中学生	1	0	0	0	0	0	1
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	2	8	0	0	0	0	10

令和6年度事業報告

5. 心理療事事業の状況について

目的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1名（きずなの家）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 職員への助言及び指導
(4) ケース会議への参加
(5) その他
・対象児童等に対する心理検査の実施

事業開始日 平成26年4月1日

心理療法実施数等 (1) 実施児童数 16名
(2) 心理療法等の回数

内 容	回 数
	きずなの家
心理療法	317
心理検査	0
生活場面面接	適宜
施設職員等への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	12
その他	74
計	403

(3) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢 ・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	その他	計
0～3歳未満	0	0	0	0	0	0	0
3歳～学齢前	0	2	0	0	0	2	4
小学生	1	2	1	0	0	6	10
中学生	0	1	0	0	0	1	2
高校生	0	0	0	0	0	0	0
計	1	5	1	0	0	9	16

5. 心理療法事業の状況について

目 的 心理療法を行う職員を配置し、虐待による心的外傷のため心理療法を必要とする児童に遊戯療法やカウンセリング等の心理療法を実施し、児童の安心感・安全感の再形成及び人間関係の修正等を図り心的外傷を治療することにより児童の自立を支援する。

セラピスト 1 名（広島乳児院）

業務内容 (1) 対象児童等に対する心理療法
(2) 対象児童等に対する生活場面面接
(3) 施設職員への助言等
(4) ケース会議への出席
(5) その他

事業開始日 平成 15 年 4 月 1 日

心理療法実施数等 実施児童数 10 名 （ほか、一時保護強化事業対象児 22 名）

内 容	回 数
心理療法	0
心理検査	0
生活場面面接	230
施設職員への助言及び指導	適宜
処遇検討会議への出席	19
その他	40
計	289

(2) 対象児童の年齢・主訴別数

	身体的虐待	保護の怠慢・拒否	性的虐待	心理的虐待	ひきこもり	計
0 歳児	0	0	0	0	0	0
1 歳児	0	8	0	1	0	9
2 歳児	0	1	0	0	0	1
3 歳児	0	0	0	0	0	0
計	0	9	0	0	0	10

6 学習指導促進事業の状況について

① 広島修道院

区 分	内 容								
実施日	小学生 …………… ホーム毎に週3回 中学生男子 …… 未実施 中学生女子 …… 未実施								
学習指導時間	小学生 …………… 午後3時30分～午後5時30分								
年間指導回数	小学生 …………… 120回（月12回×12か月） 中学生 ……………通塾 男子3名 年間48～96回 〃 女子3名 年間48～96回 ：各ホームによって回数・実施曜日が違う。長期休みにも実施								
延べ対象児童数 *小学生公文年 120 回とする。 る。	小学生	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小計	
		480	360	360	600	240	360	2,400 人 *前年 3,240 人	
	中学生	1 年	2 年	3 年	小計	合 計			
		0	0	0	0	3,240 人			
指導科目	幼児 公文（教材・ズンズン 6A5A4A）週1～2回6名 コグトレ週1回4名 小学生 …………… 公文（算数）・その他 コグトレ*小学生11名実施 中学生 …………… 通塾・学校課題 アフターケアひかり								
効果について	小学生の公文は原則全児対象（一部、途中入所の児童や、小学校の宿題の関係で実施できなかった児童がいた）。幼児は希望者のみ。各ホームで取り組みを工夫し、学習意欲を向上させることで、学習量が安定した。中三男子の学校課題提出の指導は難しく、今年度も課題となった。認知強化トレーニング（コグトレ）を、週1～2回 1回30分を実施した。日課として定着し、勉強が苦手な子も、自分から進んで学びに行く様子が見られた。								

② きずなの家 本園

区 分	内 容								
実施日	幼稚園児：①週 3 回 小学生　：①毎週 3 回以上 中学生　：①毎週 2 回 高校生　：①毎週月曜日								
学習指導時間	幼稚園児：①週 3 回　（公文学習） 小学生　：①各自帰院後（公文学習）（夕方） 中学生　：①学習塾週 2 回・家庭教師週 2 回 ②不定期　アフターケアひかり 高校生　：該当なし								
年間指導回数	幼稚園児—192 回（女児年中 2 名） 小学生—　①871 回　（1 年 1 名、2 年 1 名、3 年 1 名、5 年 2 名、6 年 1 名） 中学生—　①男 96 回　女子 146 回（1 年 1 名、3 年 1 名） 高校生—　①該当なし								
延べ対象児童数	小学生	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小計	
		412	218	151	127	－	258	1,057 人	
	中学生	1 年	2 年	3 年	小計	合　計			
		96		147	243	1,300 人			
指導科目	小学生 …………… 算数(公文) 中学生 …………… 数学他								
指導者名	小学生：①各担当職員								

	中学生：②学習塾、(啓誠塾)・家庭教師・アフターケアひかり 高校生：③該当なし
効果について	公文学習：子どもそれぞれの発達や特性を踏まえた進捗調整を行い、計算力を向上させた。 中3生1名は第一志望高校へ進学できた。

③ きずなの家 分園

区 分	内 容							
実施日	幼稚園児：①週 1 回 小学生　：①毎週 3 回以上 中学生　：①男子毎週 3 回　②女子週 2 回 高校生　：①該当なし							
学習指導時間	幼稚園児：①週 3 回　（公文学習） 小学生　：①各自帰院後（公文学習）（夕方） 中学生　：①週 2 回～3 回（学習塾）（公文学習塾） 高校生　：①該当なし							
年間指導回数	幼稚園児—85 回（男児年中 1 名・女児年少 2 名） 小学生—　①1,019 回（1 年 2 名、2 年 1 名、4 年 2 名、6 年 2 名） 中学生—　①学習塾：男子週 3（1 年 2 名、2 年 1 名、3 年 1 名） 女子週 2（1 年 2 名） 高校生—　①該当なし							
延べ対象児童数	小学生	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	小計
		248	100	—	306	—	280	1,019 人
	中学生	1 年	2 年	3 年	小計	合　計		
		432	132	96	660	1,679 人		
指導科目	小学生 …………… 算数(公文) 中学生 …………… 国語・英語・数学							
指導者名	小学生：①各担当職員 中学生：②学習塾、(田中学習会・トライ)・公文学習塾 高校生：③該当なし							
効果について	公文学習：子どもそれぞれの発達や特性を踏まえた進捗調整を行い、計算力を向上させた。 学習塾：学力の向上につながっている。 中学 3 年生 1 名は第一志望の高校に合格した。							

7 退所児童自立相談事業の状況について

退所した者に対する相談や、児童の自立のための支援は児童養護施設の業務目的(児童福祉法第41条)とされています。令和6年度からは、社会的養護自立支援事業として広島修道院、きずなの家、アフターケアひかりの職員が連携してこれまで公的支援につながらなかった児童や退所児童並びに退所を控えた児童の自立にむけた相談・支援活動を行っています。

① 広島修道院

性別	年齢	相談支援回数	内 容
女	26	10	職場変更 引っ越し相談 その後の近況確認
女	20	6	近況確認 生活の安定
女	27	10	近況確認
女	27	3	近況確認
女	21	5	近況確認
女	28	15	近況確認 就労サポート
女	21	5	近況確認
女	26	1	近況確認
男	27	1	近況確認
男	45	2	近況確認
男	46	3	近況確認
男	45	2	近況確認
男	44	1	近況確認
女	33	2	近況確認
女	24	2	近況確認
男	23	12	近況確認 就労サポート
男	23	5	近況確認 金銭管理 県社協貸付金手続
男	19	1	近況確認 奨学金手続

② きずなの家

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	24	8	近況確認 生活の安定
男	34	4	近況確認 生活の安定 関係者会議
男	17	2	近況確認
女	20	4	近況確認 生活の安定
女	21	4	近況確認 生活の安定

③ アフターケアひかり

性別	年齢	相談支援回数	内 容
男	19	59	自宅訪問(近況確認)、食糧支援、金銭管理
女	29	53	食糧支援、通院同行、心理療法支援
男	36	187	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	44	89	入院見舞い、生活支援等
男	20	2	近況確認
男	26	33	就労支援、自宅訪問(近況確認)、食糧支援
女	38	20	相互交流の場の提供、近況確認
男	21	9	相互交流の場の提供、近況確認
男	19	21	自宅訪問(近況確認)
男	19	5	相互交流の場の提供、近況確認
女	29	106	関係者会議、食事会参加、近況確認
女	36	14	生活支援、金銭管理相談、自宅訪問(近況確認)、

			食糧支援、通院同行
女	52	89	電話での苦情
男	21	27	近況確認、食糧支援
女	23	2	近況確認
女	22	1	近況確認
女	21	4	近況確認
男	20	35	関係者会議、保護者対応
女	26	1	近況確認
男	31	28	自宅訪問(近況確認)、掃除、行事参加幹旋
男	23	54	来所支援、外出支援。近況確認、相談
女	20	20	関係者会議、見守り支援。支援機関手続等
女	29	2	近況確認
男	20	8	近況確認
男	23	3	近況確認
女	20	30	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	23	2	近況確認
男	20	41	自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、金銭管理
男	23	1	近況確認
男	25	2	近況確認
女	19	40	生活相談、近況確認
男	19	6	近況確認
男	21	17	訪問相談(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	36	57	生活相談、通院同行
女	26	10	近況確認
男	25	14	近況確認、後見人等対応
女	35	2	近況確認
男	25	2	近況確認
男	24	63	相互交流の場の提供
男	43	11	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	28	2	近況確認
男	34	1	近況確認
女	21	35	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	23	11	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	18	10	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	19	1	近況確認
女	26	6	近況確認
女	18	2	近況確認
男	20	1	近況確認
女	19	97	就労支援、自宅訪問(近況確認)、掃除、食糧支援、通院同行、金銭管理
男	41	6	近況確認、相互交流の場の提供
女	25	1	近況確認
女	26	3	近況確認
女	22	8	近況確認

8 各種保育事業の状況について

① 障害児保育事業

5歳児クラス 療育手帳○B 8H加配職員を配置し、統合保育を行う。

3歳児クラス 療育手帳○B 8H加配職員を配置し、統合保育を行う。

② 延長保育事業 18:30～19:30 (R6年度より)

(保護者の就労形態の多様化、通勤時間の延長に対する需要に対応するための実施)

延長保育の定員 19:30まで15名

延長保育利用児 8名(中途の利用・中止児も含む)

③ きんさいみんなの保育園事業(保育所地域活動事業の実施)

・異年齢児交流等事業

(在園児、卒園児、地域の子ども達との幅広い年齢層での関わりの中で日頃の活動では味わえない感情や社会性を養う。)

・育児・子育て支援事業

(子育てと仕事の両立を図る保護者や地域の子育て家庭へ支援の場とする。)

在園児の保護者対象 年1回の育児講座、

地域の子育て家庭対象、年3回の育児講座、 年10回の「保育園で遊ぼう」

9 職員の状況について

(1) 職員配置（令和7年3月31日現在）

① 広島修道院

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	1	1	36	3	2	2	4	11	1	62

② 広島修道院きずなの家

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	2	1	29	1			3	7	(1)	44

③ 広島乳児院

施設長	個別・ 家庭専門員	里親支援専門員	児童指導員・ 保育士	心理療法士	看護師	栄養士	事務員	調理員等	嘱託医	合計
1	1	1	28	1	7	4	1	9	1	54

④ 広島修道院保育園

施設長	保育士	事務員	調理員等	合計
1	22	1	4	28

⑤ 児童家庭支援センターわかくさ

施設長	相談・支援担当	心理療法担当	合計
(1)	4	1	5

⑥ 法人本部 役員1名

役員・職員数 194名(うち正職員134名、非常勤職員17名、パート・嘱託職員40名、嘱託医2名)

(2) 処遇の改善

① 健康管理の促進

ア 定期健康診断の充実を図った。

イ 精密検査（人間ドック）の推進を図った。

広島県民間社会福祉事業従事者互助会との連携による衛生検査の充実を図った。

ウ 産業医と共に衛生委員会の継続開催により健康管理の体制を整備した。

② 処遇改善手当の支給

給与規程等に基づき、広島市の交付要領に従い、対象職員へ支給した。

(3)-1 施設職員の研修状況等 (広島修道院)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会	6/28 9/20 10/25 11/22 12/20 1/24 2/28 3/14	6	[外] 加茂 陽 大下・中	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院) ○ ケーススタディ加茂勉強会 全8回				
院内勉強会	7/19 10/18 1/17 3/3	5	[外] 岡本晴美 広島国際大学	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院) 循環型人材育成研修 H研				
院内勉強会	6/7 9/19 11/1 2/6	5	[外] 岡本晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
広島修道院 循環型人材育成研修 S研				
院内勉強会	6/14 9/26 12/6 2/7	8	[外] 岡本晴美 広島国際大学	保育士・児童指導員
広島修道院 循環型人材育成研修 I研				
院内勉強会	9/26 10/24 12/20	2	[外] 黒岡・中谷 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	保育士・児童指導員
広島修道院 ○ CSP公式FB(Web)				
院内勉強会	5/22 6/26 7/29 8/28 9/18 10/16 11/25 12/18 1/22 2/26	2	[外] 松本千賀子 NPO法人COM子育て 環境デザインルーム	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院 ○ CSP 合同SV(Web)				
院内勉強会	5/9 5/17 5/20 5/22 5/28 6/5 6/12 2/13 2/19	7	[内] 兼光一之	保育士・児童指導員
広島修道院 ○ CSP紹介講座				
院内勉強会	7/9 1/21	6	[外] 稲吉 玲美 [内] 中林 均	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院 こころのケア委員会研修				
院内勉強会	R6.9.6	12	[外] 宇原敏子 [外] 高山清子	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院 ○ CAP大人向けワークショップ				
院内勉強会	10/30 10/31 11/6 11/8 11/12	29	[内] 的場高志	施設長・保育士・児童指導員
広島修道院 ハラスメント防止・公益通報研修会				
院内勉強会	3/18 3/19 3/21 3/22	3	[内] 施設長・総主任 先輩職員	保育士・児童指導員
広島修道院 児童・きずな合同新任研修				
院内勉強会				
広島修道院				
院内勉強会				
広島修道院				
院内勉強会				
広島修道院				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	広養協第1回給食部会 R06/04/24	広島県児童養護施設協議会	広島市	第71回中国地区里親研修大会予行演習	主任栄養士、栄養士	泊野、西村
○	広島県児童福祉司任用前講習会 R06/04/24 ～ R06/09/20	広島県	広島市	子どもの権利擁護他	保育士	有家
	研修企画担当者等養成研修 R06/04/25 ～ R06/04/26	西日本こども研修センターあかし	兵庫県	効果的な「研修デザイン」の基本を学ぶ	事務員	矢原
	二葉乳児院・みやぎ里親支援センターけやきの視察 R06/05/13 ～ R06/05/14	里親支援センターからふる	東京都	運営や里親リクルート活動の状況、課題について	施設長、保育士	山村、恵木
	第1回広養協心理ケア部会 R06/05/16	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	武内
	新任職員等研修会 R06/05/23	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	安全委員会方式の基本的な知識と理解を深める	保育士	塚迫、増山
○	第71回中国地区里親研修大会 R06/05/25 ～ R06/05/26	公財)全国里親会他	広島市	児童福祉の向上と里親制度の一層の発展に資する	施設長、保育士、主任保育士	山村、恵木、河本
	第1回防災宿泊研修 R06/06/11 ～ R06/06/12	広島市防火連絡協議会	広島市	夜間の防火管理体制を実践的訓練などにより確立する	児童指導員	梶岡
	第1回「養護ひろしま」編集委員会 R06/06/12	広島県児童養護施設協議会	広島市	「養護ひろしま第61号」の評価・反省他	児童指導員	西川
	広養協新任職員研修 R06/06/18 ～ R06/06/19	広島県児童養護施設協議会	広島市	新任職員の資質向上と福利厚生を図る	施設長、保育士、児童指導員、保育士、児童指導員、保育士	山村、杉本、大中、木下、門脇、吉久、坪上
	広養協キャンプ指導者研修 R06/06/24 ～ R06/06/25	広島県児童養護施設協議会	広島県	児童の健全育成と職員の指導力養成、連帯感を深める	保育士	杉本
	第3回防災1日研修 R06/06/25	広島市防火連絡協議会	広島市	消防設備を使用した実技訓練を行う	児童指導員	西川
	地域精神保健研修会 特別講演 R06/06/27	広島県精神保健福祉協会	広島市	若者に急増する処方薬依存や市販薬依存について	主任心理療法士	岡本
	全国児童養護問題研究会第51回全国大会 R06/06/28 ～ R06/06/30	全国児童養護問題研究会	大阪府	子どもの権利としての社会的養護を実現するには	施設長、児童指導員	山村、田中
	福祉職の伝え方研修 R06/07/04	広島県社会福祉協議会	広島市	なぜ伝わらないかを紐解き、伝わる伝え方を身に付けよう	保育士、児童指導員	高島、田中
	第61回中国地区児童養護施設研究協議会 R06/07/04 ～ R06/07/05	中国地区児童養護施設協議会	島根県	すべての子どもと歩む養育のいとなみ	施設長、保育士、児童指導員、保育士	山村、宅間、片岡、塚迫
	広島市社会福祉施設新任職員研修 R06/07/09	広島市社会福祉協議会	広島市	職務遂行上必要な基礎知識を身につける	栄養士	燈中
	感染症・食中毒予防研修 R06/07/22 ～ R07/01/31	広島県社会福祉協議会	広島市	「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ための感染対策	看護師	小川
	OJT推進研修 R06/08/22	広島県社会福祉協議会	広島市	チームリーダーとしてのOJTの具体的な進め方	保育士	増山
○	ファミリーソーシャルワーク研修会 R06/09/10 ～ R06/09/11	全国社会福祉協議会	神奈川県	多様な課題や背景を抱える子どもとその家族への支援方法	児童指導員	山根

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	NPO法人キーアセット福岡 ・SOS子ども村JAPAN視察 R06/09/10 ～ R06/09/11	里親支援センターから ふる	福岡県	広報啓発の進め方、里 親支援センターの運営 や業務の取組について	保育士、事務員	恵木、矢原
	全国児童心理治療施設職員 研修会 R06/09/12 ～ R06/09/13	全国児童心理治療施設 協議会	広島市	専門的知識や専門的技 術の向上と各領域との 相互理解と連携を深め	保育士、施設長	渡辺、菊池、山村
	交流会・第4回情報交換会 R06/09/22 ～ R06/09/23	社会福祉法人二葉保育 園	東京都	広報啓発の進め方、里 親支援に関する情報交 換	保育士	恵木
○	第68回中国・四国地区乳児 院研究協議会 R06/09/25 ～ R06/09/27	中国・四国地区乳児院 協議会	山口県	これまで乳児院が大切 にしてきたもの これ からの乳児院に求めら	児童指導員	岡田
	児童福祉施設等親善行事に 係る反省会 R06/10/04	広島県児童養護施設協 議会	広島市	他施設職員と各行事の 反省、改善点の共有	保育士	杉本
	第3回広養協心理ケア部会 R06/10/10	広島県児童養護施設協 議会	広島市	情報共有他	心理療法士	武内
	第73回全国乳児院協議会 R06/10/10 ～ R06/10/11	全社協・全国乳児福祉 協議会	秋田県	乳児院の変革と伝統～ 守るべきものと変えて いくもの～	総主任児童指導員	大久保
	第69回全国里親大会ふくい 大会 R06/10/12 ～ R06/10/13	公財)全国里親会他	福井県	広がれ里親の輪、応援 します子どもの育ち	保育士	恵木
	広島県臨床心理士会 被害 者支援委員会 第1回研修 R06/10/19	広島県臨床心理士会	広島市	「少年非行の現状と立 ち直り支援」	主任心理療法士	岡本
	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【中堅職員コ R06/10/22 ～ R06/10/23	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き 、期待に応える	児童指導員	西川
	第77回全国児童養護施設長 研究協議会 R06/10/22 ～ R06/10/24	全国社会福祉協議会	石川県	子どもの育ちが大切に される社会とは	施設長	山村
	里親支援センター等人材育 成プログラム R06/10/28 ～ R06/10/29	日本福祉大学リカレン ト教育事業部	大阪府	里親支援に関わる人材 育成のための講義、対 面演習	事務員	矢原
	福祉施設・事業所のプライ バシー保護研修 R06/10/28 ～ R07/02/07	広島県児童養護施設協 議会	広島市	事例から考える利用者 の利益のためのプライ バシー保護	施設長、副院長、総主 任保育士、保育士、児 童指導員、心理療法士	山村、兼光、桑原 、杉本、片岡、武 内
	全国児童養護施設協議会 養育・権利擁護セミナー R06/11/06	全国児童養護施設協議 会	岡山県	養育と子どもの権利擁 護に関する共通理解と 実践	副院長	兼光
	全国若者自立支援プロジェ クト 中国ブロック会議 R06/11/08	東京都社会福祉協議会	鳥取県	～子どもの自立支援の ためにつなごう!!～	総主任児童指導員、主 任個別対応職員	山根、宮崎
	全体研修会 R06/11/10	広島県臨床心理士会	広島市	生きづらさを解く ～ 各種心理療法から学ぶ ～	心理療法士	武内
	共に創る、新しい里親養育 支援 R06/11/12	家庭養育支援機構	東京都	NPO法人家庭養育支援 機構設立記念フォーラ ム&ワークショップ	施設長	山村
	第14回消防訓練実務研修 R06/11/18	広島市防火連絡協議会	広島市	消防訓練に関する実務 を習得	保育士	菊池
	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【チームリー R06/11/18 ～ R06/11/19	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き 、期待に応える	看護師	小川
	広島市社会福祉施設経営者 ・施設長等研修 R06/11/21	広島市社会福祉協議会	広島市	適切な施設運営・事業 推進のための必要な知 識・認識を深める	施設長	山村

[illegible]

(3)-2 施設職員の研修状況等 (広島修道院きずなの家 本園)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院きずなの家

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会	①5/2,②7/19、③10/18、④1/17、⑤3/3	8	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Hold(リーダー編)			
院内勉強会	①4/24②5/22③6/26④7/17⑤9/25⑥10/16⑦11/27⑧12/18⑨1/29⑩2/26⑪毎月第3水曜日	1	[外] 松本 千賀子 Com子育て デザインルーム理事長	施設長
(広島修道院きずなの家)	○ CSP 幹部FB			
院内勉強会	①9/4、②10、③18、④25 ⑤10/2、⑥9、⑦16 毎週水曜計7回	1	[外] 黒岡・森本 Com子育て デザインルーム	保育士
(広島修道院きずなの家)	○ CSP 幼児版連続講座			
院内勉強会	①6/7、②9/19、③11/1、④2/6、	5	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員・心理士
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Smile(中堅編)			
院内勉強会	①5/14、②6/11、③9/9、④10/7、⑤11/18、⑥12/10、⑦2/10	17	[外] 加茂 陽 広島県立大学名誉教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ケース会議			
院内勉強会	①6/14、②9/26、③12/6、④2/7	2	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	循環型人材育成研修Idea(中堅編)			
院内勉強会	①7/9、②1/21	5	[外] 稲吉玲美 東京大学特任講師	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	こころのケア委員会2024			
院内勉強会	9/3	15	[外] ちかげ・さよ アドボカシー センター広島	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	アドボケート説明会			
院内勉強会	R6.9.6	10	[外] 宇原・高山 特定非営利活動法人 CAP広島	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ CAP大人ワークショップ			
院内勉強会	2024/10/30・31、11/6・8・12	18	[内] 的場参事 法人事務局	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	○ ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会	2025.1/31	3	[外] 徳永祥子 立命館大学 衣笠総合研究機構	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	ライフストーリーワーク			
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
	別紙		
()			

(3)-3 施設職員の研修状況等 (広島修道院きずなの家 分園)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院きずなの家

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会	循環型人材育成研修Hold(10年以上)	4	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①5/2②7/19③10/18④12/17⑤3/3			
院内勉強会	循環型人材育成研修Smile(5～9年目)	6	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員・心理士
(広島修道院きずなの家)	①6/7②9/19③11/1④2/6			
院内勉強会	循環型人材育成研修Idea(2～4年目)	5	[外] 岡本 晴美 広島国大学教授	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①6/14②9/26③12/6④2/7			
院内勉強会	○ ケース会議	18	[外] 加茂 陽 広島県立大学名誉教授	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①5/17②6/13③7/9④9/27⑤10/21⑥11/28⑦1/24⑧2/25			
院内勉強会	○ CSP 幹部FB(ZOOM) 毎月第4水曜日	1	[外] 松本 千賀子 Com子育てデザインルーム理事長	児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①4/24②5/22③6/26④7/17⑤9/25⑥10/16⑦11/27⑧12/18⑨1/29⑩2/26			
院内勉強会	ソーシャルワーク職員研修『自己理解』と『他者理解』	2	[内] 中林 均 アフターケアひかり	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	5/9			
院内勉強会	公文全体研修(導入・導入後、共有会)ZOOM	18	[外] 平位 郁代 公文教育研究会 法人事業部	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①6/3 ②7/9			
院内勉強会	○ 心のケア委員会ワークショップ/構成的エンカウンターG	3	[内] 中林 均/稲吉 Aケアひかり/東大特任	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①7/9②1/21			
院内勉強会	○ CAP大人向けワークショップ	17	[外] 宇原・高山 特定非営利活動法人	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	9/6			
院内勉強会	○ CSP幼児版正規セッション 全7回	5	[外] 東野・黒岡 Com子育てデザインルーム	保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	①9/4②10③18④25⑤10/2⑥9⑦16			
院内勉強会	○ ライフストリートワーク	1	[外] 徳永祥子 立命館大学 衣笠総合研究機構	児童指導員
(広島修道院きずなの家)	1/31			
院内勉強会	○ ハラスメント防止・公益通報研修会	15	[内] 的場参事 法人事務局	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	10/30・31 11/6・8・12(内1回出席)			
院内勉強会	アドボケイト広島紹介説明会	17	[外] ちかげ・さよ アドボカシーセンター広島	施設長・保育士・児童指導員
(広島修道院きずなの家)	9/3			
院内勉強会				
(広島修道院きずなの家)				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	新任職員等研修会 R06/05/23	山口県児童福祉安全委員会連絡協議会	山口県	安全委員会方式の基本的な知識と理解を深める	保育士、児童指導員	滝口、田中
○	第71回中国地区里親研修大会 R06/05/25 ～ R06/05/26	公財)全国里親会他	広島市	児童福祉の向上と里親制度の一層の発展に資する	施設長、主任児童指導員	前田、武智
	第1回「養護ひろしま」編集委員会 R06/06/12	広島県児童養護施設協議会	広島市	「養護ひろしま第61号」の評価・反省他	保育士	落畑
	広養協新任職員研修 R06/06/18 ～ R06/06/19	広島県児童養護施設協議会	広島市	新任職員の資質向上と福利厚生を図る	施設長、保育士、児童指導員、保育士、児童指導員	前田、滝口、西原、松浦、田中
	広養協キャンプ指導者研修 R06/06/24 ～ R06/06/25	広島県児童養護施設協議会	広島県	児童の健全育成と職員の指導力養成、連帯感を深める	児童指導員	田中
	第61回中国地区児童養護施設研究協議会 R06/07/04 ～ R06/07/05	中国地区児童養護施設協議会	島根県	すべての子どもと歩む養育のいとなみ	施設長、児童指導員、保育士	森田、藤岡
	第1回保健衛生部会 R06/07/12	広島県児童養護施設協議会	広島市	助産師の方による「いのちの授業」	保育士	吉崎
	NPO法人キーアセット福岡・SOS子ども村JAPAN視察 R06/09/10 ～ R06/09/11	里親支援センターからふる	福岡県	広報啓発の進め方、里親支援センターの運営や業務の取組について	施設長	前田
	第19回西日本児童養護施設職員セミナー山口大会 R06/09/11 ～ R06/09/13	近畿・中国地区・四国・九社連養協	山口県	こどもに寄り添い、ともに成長するために	児童指導員	住吉
○	臨床に活かすポリヴェーガル理論 R06/10/06	(一社)広島県公認心理師協会・広島県臨床心理士会	広島県	発達性トラウマと発達障害に取り組むスキルと事例	心理療法士	岡田
	第77回全国児童養護施設長研究協議会 R06/10/22 ～ R06/10/24	全国社会福祉協議会	石川県	子どもの育ちが大切にされる社会とは	施設長、主任個別対応職員	前田、田島
	福祉施設・事業所のプライバシー保護研修 R06/10/28 ～ R07/02/07	広島県児童養護施設協議会	広島市	事例から考える利用者の利益のためのプライバシー保護	施設長	前田
	全国児童養護施設協議会養育・権利擁護セミナー R06/11/06	全国児童養護施設協議会	岡山県	養育と子どもの権利擁護に関する共通理解と実践	総主任児童指導員、総主任里親支援専門相	中山、西川
○	全国児童福祉安全委員会連絡協議会第15回全国大会（ R06/11/14 ～ R06/11/15	全国児童福祉安全委員会連絡協議会	千葉県	安全委員会を社会の光に～安全委員会と施設養育の可能性～	施設長、保育士、児童指導員	前田、胤森、田中
	広島市社会福祉施設経営者・施設長等研修 R06/11/21	広島市社会福祉協議会	広島市	適切な施設運営・事業推進のための必要な知識・認識を深める	施設長	前田
○	ファミリーソーシャルワーク研修会 R06/12/04 ～ R06/12/05	全国社会福祉協議会	神奈川県	専門性向上と支援方法に関する学び	主任保育士	山根
	広養協第2回研修部会 R07/02/21	広島県児童養護施設協議会	広島県	アドミッションケアからの直接処遇職員の支援	児童指導員	森田
				「以下余白」		

(3)-4 施設職員の研修状況等 (広島乳児院)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	人数	講師	参加職種
院内勉強会 (広島乳児院)	4/26乳幼児ホームの方針	7	[内] 横山院長	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	5/24保育看護・6/25権利擁護	7	[内] 梶原総主任 大久保総主任	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	6/3乳幼児のアセスメントについて	16	[外] 児童精神科医 黒崎 充勇	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	7/19こどもの権利擁護 ○ (子どもの権利条約を読んでもみよう。)	16	[外] 弁護士 定者 吉人	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	7/26乳児保育・8/23保育	7	[内] 大峠主任 隅原主任	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	8/26メンタルヘルスについて	16	[外] 児童精神科医 黒崎 充勇	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	9/9幼児安全法短期講習 赤十字救急法講習会	7	[外] 広島赤十字社 脇谷	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	10/19感覚統合の視点から見た 子どもの発達	14	[外] 言語聴覚士 河村 迅	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	10/25家庭調整	7	[内] 草地家庭支援専門相談員	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	10/30、10/31、11/6、11/8、11/12 ハラスメント防止・公益通報研修会	64	[内] 的場参事	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	11/29里親支援	7	[内] 藤本総主任	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	12/2事例検討会① すみれ	16	[外] 児童精神科医 黒崎 充勇	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	1/24栄養食育	7	[内] 佐藤主任	保育士・児童指導員
院内勉強会 (広島乳児院)	2/26新任研修まとめ	8	[内] 大久保総主任	保育士・児童指導員

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研修内容	講師	参加職種
()	別紙		

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	二葉乳児院・みやぎ里親支援センターけやきの視察 R06/05/13 ～ R06/05/14	里親支援センターから ふる	東京都	運営や里親リクルート活動の状況、課題について	主任看護師	竹内
	第1回広養協心理ケア部会 R06/05/16	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
	福祉施設・事業所新卒採用者研修 R06/05/21 ～ R06/05/22	広島県社会福祉協議会	広島市	「福祉職として」「組織人として」の基本姿勢を学ぼう	保育士	伊藤、山本、櫻本
○	第71回中国地区里親研修大会 R06/05/25 ～ R06/05/26	公財) 全国里親会他	広島市	児童福祉の向上と里親制度の一層の発展に資する	主任看護師	竹内
	中途採用者のための福祉の基本を学ぶ研修 R06/06/05	広島県社会福祉協議会	広島市	利用者支援を理解し、福祉の仕事に向き合おう	看護師	木村
	第1回防災宿泊研修 R06/06/11 ～ R06/06/12	広島市防火連絡協議会	広島市	夜間の防火管理体制を実践的訓練などにより確立する	児童指導員	町田
	福祉職の伝え方研修 R06/07/04	広島県社会福祉協議会	広島市	なぜ伝わらないかを紐解き、伝わる伝え方を身に付けよう	児童指導員	伊達
	リスクマネジメント研修【障害施設・児童福祉施設編】 R06/07/09 ～ R06/07/30	広島県社会福祉協議会	広島市	リスクの感度をあげ、職員・利用者が安心できる施設・事業所へ	保育士	中崎
	第2回広養協心理ケア部会 R06/07/11	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
	第67回全国乳児院研修会 R06/07/11 ～ R06/07/12	全社協・全国乳児福祉協議会	奈良県	乳児院職員としての専門性を向上させる	総主任看護師、主任児童指導員、保育士	梶原、藤田、平山、山下
	新任管理職研修 R06/08/07 ～ R06/08/20	広島県社会福祉協議会	広島市	管理職に求められるリーダーシップ・マネジメントスキル	児童指導員	藤田
	対人援助職のストレスマネジメント研修 R06/09/10	広島県社会福祉協議会	広島市	自分を大切にして、よりよい支援に繋げよう	保育士	吉野
○	ファミリーソーシャルワーク研修会 R06/09/10 ～ R06/09/11	全国社会福祉協議会	神奈川県	多様な課題や背景を抱える子どもとその家族への支援方法	主任保育士	宮本
	NPO法人キアアセット福岡・SOS子ども村JAPAN視察 R06/09/10 ～ R06/09/11	里親支援センターから ふる	福岡県	広報啓発の進め方、里親支援センターの運営や業務の取組について	主任看護師、総主任保育士	竹内、藤本
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース R06/09/11 ～ R06/09/12	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き、期待に応える	保育士	西田、中崎、阿黒
	交流会・第4回情報交換会 R06/09/22 ～ R06/09/23	社会福祉法人二葉保育園	東京都	広報啓発の進め方、里親支援に関する情報交換	主任看護師	竹内
○	第68回中国・四国地区乳児院研究協議会 R06/09/25 ～ R06/09/27	中国・四国地区乳児院協議会	山口県	これまで乳児院が大切にしてきたもの これからの乳児院に求めら	保育士、主任個別対応職員	八木、松井、隅原
	乳児院職員指導者研修 R06/09/25 ～ R06/09/27	西日本こども研修センターあかし	兵庫県	乳児院職員の専門性とこれからの人材育成	児童指導員	眞鍋
	第3回広養協心理ケア部会 R06/10/10	広島県児童養護施設協議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
	第69回全国里親大会ふくい大会 R06/10/12 ～ R06/10/13	公財) 全国里親会他	福井県	広がれ里親の輪、応援します子どもの育ち	主任看護師、総主任保育士	竹内、藤本

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程【中堅職員コ R06/10/22 ～ R06/10/23	広島県社会福祉協議会	広島市	自分のキャリアを描き 、期待に応える	看護師、保育士	島本、池田
	社会福祉法人愛恵会福山乳 児院・栄光園見学 R06/10/23 ～ R06/10/24	広島乳児院	広島県	養育方法や現場対応、 技術の習得	主任個別対応職員、栄 養士、保育士、看護師 、保育士	隅原、岡、平山、 吉岡、松井
	福祉施設・事業所のプライ バシー保護研修 R06/10/28 ～ R07/02/07	広島県児童養護施設協 議会	広島市	事例から考える利用者 の利益のためのプライ バシー保護	施設長	横山
	社会福祉法人会計セミナー 「予算・実践編」 R06/11/05	(公財) 公益法人協会	広島市	予算管理の実務他	主任事務員	沖田
	共に創る、新しい里親養育 支援 R06/11/12	家庭養育支援機構	東京都	NPO法人家庭養育支援 機構設立記念フォーラ ム&ワークショップ	主任看護師	竹内
	第2回フォローアップ・ミ ーティング (オンライン) R06/11/18	一般社団法人無憂樹	広島市	FCPにおける各地域の 実施、状況報告	主任看護師、総主任保 育士、保育士	竹内、藤本、大田
	中国四国地区乳児院協議会 里親支援研修会 R06/11/21 ～ R06/11/22	中国四国地区乳児院協 議会	島根県	各施設との意見交換、 施設見学他	総主任保育士	藤本
	第6回中国四国地区乳児院 看護研修会・交流会 R06/11/28 ～ R06/11/29	中国・四国地区乳児院 協議会	岡山県	「医療的ケア児」講義 他	総主任看護師、看護師	梶原、吉岡
	フォスタリングソーシャル ワーカー養成講座フォロー R06/11/29 ～ R07/02/28	立命館大学人間科学研 究所	京都府	ライフストーリーワー クについての講義他	総主任保育士、主任看 護師	藤本、竹内
	第4回広養協心理ケア部会 R07/01/16	広島県児童養護施設協 議会	広島市	情報共有他	心理療法士	森田
	スーパービジョン研修会 R06/08/31 ～ R06/09/02	全社協・中央福祉学院	神奈川県	人の尊厳とスーパービ ジョン研修	児童指導員	松尾
	第9回 里親支援情報交換 会 R07/02/01	社会福祉法人二葉保育 園	東京都	インテーク、調査訪問 時の確認事項について	主任看護師	竹内
○	施設心理職員合同研修【オ ンライン】 R07/02/13 ～ R07/02/14	子どもの虹情報研修セ ンター	広島市	効果的な心理支援を提 供する技能の向上他	心理療法士	森田
	フォスティングチェンジプ ログラム思春 期版 (12+) ファシリテーター養成 R07/02/25	一般社団法人無憂樹	広島市	思春期12歳以上の子ど もたちを対象としたプ ログラム	主任看護師	竹内
	第13回乳児院上級職員セミ ナー R07/02/26 ～ R07/02/27	全社協・全国乳児福祉 協議会	神奈川県	上級職員に求められる 専門的知識等の習得他	保育士	大田
	第6回乳児院医療・看護セ ミナー R07/02/28	全社協・全国乳児福祉 協議会	神奈川県	乳児院養育・支援に特 化した医療・看護の専 門性向上	総主任看護師	梶原
	第6回中国・四国地区乳児 院栄養士研修会 R07/03/04 ～ R07/03/05	中国・四国地区乳児院 協議会	高知県	情報交換他	栄養士	岡
				「以下余白」		

(3)-5 施設職員の研修状況等 (広島修道院保育園)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

広島修道院保育園

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
園内勉強会	R6.5.15 ～ R6.11.21	11	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	食農について(3回)			
園内勉強会	R6.6.24	11	[外] 日本赤十字社 指導員 脇谷孔一	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	救命救急講習			
園内勉強会	R6.11.14	5	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	自然保育について			
園内勉強会	R6.11.12	13	[外] 角野 直美	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	発達障害について			
園内勉強会	R6.5.21 ～ R6.12.26	11	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	ひよこクラス会議			
園内勉強会	R6.5.9 ～ R6.5.30	18	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	うさぎクラス会議(4回)			
園内勉強会	R6.4.3 ～ R7.2.14	33	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	きりんクラス会議(11回)			
園内勉強会	R6.9.18	10	[内] 保育士	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	○ 虐待勉強会			
園内勉強会	R6.8.22	13	保育士	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	平和勉強会			
園内勉強会	R6.10.30 ～ R6.11.12	17	的場参事	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
園内勉強会	R6.5.6 ～ R6.9.26	6	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	月クラス会議			
園内勉強会	R6.2.1	6	[外] オンライン	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	市街地で自然保育			
園内勉強会	R6.5.20 ～ R7.1.22	16	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	リズムあそびについて(3回)			
園内勉強会	R7.1.11	11	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	描画総括			
園内勉強会	R6.6.5、R6.6.13	7	副主任他	施設長・保育士
(広島修道院保育園)	空・星クラス会議			

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
○	危機管理研修会 R06/05/08	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	自然災害等に的確に対応するための危機管理意識の向上を図る	保育士	小倉
	自然保育体験研修 R06/05/11	森林ボランティア団体 もりゆう	広島市	さあ！春から初夏自然の中で一緒に遊ぼう！	保育士	本島
	障害児保育担当保育士研修会 R06/05/21	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	統合保育の意義と保護者支援他	保育士	本島
	第1回発達支援コーディネーター養成講座 R06/05/30	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	こどもの感覚と運動について	保育士	田川
	こども学セミナー2024 R06/06/01 ～ R06/06/02	麦わらぼうし	広島市	対話的な保育のすすめ	保育士	竹内
	第1回ひろしま自然保育推進交流会 R06/06/16	広島県健康福祉局安心保育推進課	広島県	認証園同士の交流を通して、より自然保育を推進していく	保育士	小倉、宇野
	安田式研修会基礎講座in広島 R06/06/20	エール(株)	広島市	体育・運動遊びを学ぶ	保育士	本島
	あそびと発達の講座（1回目） R06/06/21	広島市保育連盟	広島市	絵本を選ぶ力を身につける他	保育士	吉村
	健康安全講座（1回目） R06/06/25	広島市保育連盟	広島市	子どもの事故とその対策について	保育士	宇野
	第2回発達支援コーディネーター養成講座 R06/06/26	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	言語コミュニケーションの難しさを抱える児の理解と支援	保育士	田川
	広島県保育士等キャリアアップ研修 R06/07/01 ～ R06/09/26	(株)ポピンズプロフェッショナル	広島市	②保健衛生・安全対策	保育士	小倉
	第56回全国保育団体合同研究集会in熊本 R06/07/27 ～ R06/07/29	全国保育団体合同研究集会実行委員会	熊本県	つながり、ふみだし、つくりだそうすべての子どもの笑顔と平和の	保育士	本島
	安田式集中講座 R06/08/03 ～ R06/08/04	エール(株)	滋賀県	こどもの年齢と発達の理解他	保育士	福島
	地区社協役員等実践講座 R06/08/04	広島市社会福祉協議会	広島市	地域で一緒にできることを考える 社会福祉法人の取り組みを通じ	保育士	竹内
○	みんなの幸せのために R06/08/16	広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター	広島市	～不適切な保育について考える～	保育士	穴井
○	要保護児童等対策に関する東区私立保育施設連絡会 R06/09/03	東区厚生部地域支えあい課	広島市	広島市及び東区における児童虐待・相談の現状と意見交換	施設長	平田
	新採用・フォローアップ研修 R06/09/06	広島市私立保育協会	広島市	語り合いで保育を楽しく！	保育士	梶木
	障害児保育園長研修会 R06/09/10	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	気になる子どもや障害のある子の保護者支援	施設長	平田
	第3回発達支援コーディネーター養成講座 R06/09/11	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	小学校への引継ぎ他	保育士	田川
	初級職員研修会 R06/09/12	広島市私立保育協会	広島市	子どもの主体性を育む保育と保育室の環境づくりについて学ぶ	保育士	木寺

研 修 会 名		主 催	場 所	研 修 内 容	職 種	参 加 者
	第3回消防訓練実務研修 R06/09/30	広島市危険物安全協会	広島市	避難、消火および総合訓練の実技研修	保育士	吉村
	保育士対象発達障害児基礎研修会 R06/10/07	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	発達障害児の理解と支援について	保育士	本島
	あそびと発達の講座（2回目） R06/10/09	広島市保育連盟	広島市	乳幼児期に必要な経験について学ぶ	保育士	谷口
	障害児保育保育士・主任保育士・主幹保育教諭研修会 R06/10/18	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	保護者支援及び関係機関との連携	保育士	本島
	第4回発達支援コーディネーター養成講座 R06/10/24	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	吃音のある児の理解と支援 他	保育士	田川
	第23回広島県保育団体合同研究集会 R06/10/27	広島県保育団体連絡会	広島市	問題共有と試行錯誤的保育実践の交流	総主任保育士	竹内
	福祉施設・事業所のプライバシー保護研修 R06/10/28 ～ R07/02/07	広島県児童養護施設協議会	広島市	事例から考える利用者の利益のためのプライバシー保護	施設長	平田
	広島県保育士等キャリアアップ研修 R06/11/01 ～ R07/01/29	㈱ポピンズプロフェッショナル	広島市	④乳児保育	保育士	田嶋
	上級職員研修 R06/11/15	広島市私立保育協会	広島市	脳科学から読み解く、親と子の心と身体・環境から育つ親子の関り	総主任保育士	竹内
	障害児保育担当保育士研修会・障害児別研修 R06/11/27	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	発達障害児の理解と保育	保育士	本島
	広島県保育士等キャリアアップ研修 R06/12/02 ～ R07/02/13	㈱ポピンズプロフェッショナル	広島市	⑤保護者支援・子育て支援	保育士	宇野
	広島県保育士等キャリアアップ研修 R06/12/02 ～ R07/02/20	㈱ポピンズプロフェッショナル	広島市	⑦マネジメント	総主任保育士	竹内
	自然保育リーダー養成プログラム R06/12/11	広島県	広島市	安全管理、企画立案他	保育士	福島
	第5回発達支援コーディネーター養成講座 R06/12/18	広島市こども未来局幼保企画課	広島市	ライフステージを見据えた支援他	保育士	田川
	市街地で自然保育！？ R07/02/01	ひろしま自然保育推進協議会	広島市	環境づくり、保育実践に関する講演	施設長	平田
	第2回広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修 R07/02/04	広島市(教育委員会・子ども未来局)	広島市	子供が心を寄せる生活や遊びについて	保育士	梶木
				「以下余白」		

(3)-6 施設職員の研修状況等 (児童家庭支援センターわかくさ)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入してください。

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

児童家庭支援センターわかくさ

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	10/30、10/31、11/6、11/8、11/12	5	[内] 的場 高志	保育士・児童指導員
(本部)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入すること。

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

[illegible]

(3)-6 施設職員の研修状況等 (本部)

※ 虐待等の防止に関する研修については、研修名の横に○を記入

(1) 研修の状況

① 施設内の研修

本部

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	人数	講 師	参 加 職 種
院内勉強会	R6. 10/30,10/31,11/6,11/8,11/12	8	[内] 的場参事	本部事務員
(本部)	ハラスメント防止・公益通報研修会			
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				
院内勉強会				
()				

(注) 「講師」欄について、外部から講師を招いた場合は、講師名の前に[外]と記入

② 施設外の研修

研修名・実施機関(下段)	研 修 内 容	講 師	参 加 職 種
	別紙		
()			

本部

※○印は虐待研修

[illegible]

10 北村基金の状況について

(1) 収入 寄付金 0 円

(2) 支出

① 奨学金	4 件	750,000 円
② 職員表彰（勤続 10 年）	4 件	39,600 円
③ 児童表彰	4 件	24,720 円

11 施設設備等の整備状況について

- (1) 管理棟 2 階講堂照明器具更新（LED 照明へ切替）
- (2) 保育園 月・空組照明器具更新（LED 照明へ切替）

12 寄付、寄贈について

(1) 寄付

区分	寄付件数	寄付金額	備考
令和 5 年度	209	56,511,685 円	遺贈 1 件、37,455 千円
令和 6 年度	241	33,193,673 円	

(2) 寄贈

区分	寄贈件数	寄贈品の主なもの
令和 5 年度	382	紙パンツ、マスク、衣類などの日用品、米・野菜などの食料品、玩具、絵本
令和 6 年度	391	